

# 九州大学福岡演習林の甲虫類

城戸 克弥

九州大学総合研究博物館 協力研究員：〒812-8581 福岡県福岡市東区箱崎6-10-1  
coleop6464@yahoo.co.jp

**要旨：**九州大学福岡演習林（通称：粕屋演習林）において2024年3月から10月の期間、甲虫類の調査を行った。地表式FIT（丸山式FIT）によって227種、それ以外の方法で598種が得られた。これらを合わせ重複種106種を差し引き（227+598-106）、当地から719種を記録した。本調査により、福岡県初記録の種や学術的に重要な種も多数発見された。

**キーワード：**昆虫、篠栗町、里山環境、福岡県初記録

報告に先立ち、現地において筆者の自由な調査活動をお許し頂き、さらに様々なご便宜を頂いた福岡演習林の鍛冶清弘氏、中村琢磨氏、荒木利恵氏をはじめ、職員の皆様に厚くお礼申し上げます。

また、久留米昆虫研究会副会長の今坂正一氏、九州大学大学院の橋爪拓斗氏ならびに関 峻大氏には多数の標本の同定を願った上、様々なご指導を頂いた。心よりお礼申し上げます。最後になるが、終始ご指導いただき、様々な手続きを取っていただいた九州大学総合研究博物館の丸山宗利先生に厚くお礼申し上げます。

なお、当演習林への立ち入りや採集は入林許可や小型資料採取許可を得た上でやっている。

## 調査目的

筆者はこれまでに、県内各地で同様の調査を行ってきた。今回、当演習林を選んだのは大都市である福岡市近郊の典型的な里山環境であり、低地に残された貴重な森林と思われる。一方で、当演習林の周りには新たに造成された地に工業団地や宅地が隣接していて、現在も造成は続いているようである。また、森林があっても大部分はスギやヒノキの人工林であり、その上、私有地が多く

簡単に入林ができないのが現状である。また、このような低地からの甲虫類の過去の記録は大変少ない。

このような現状から早急に当演習林内の調査を行い、都市近郊の典型的な里山林の甲虫相を少しでも明らかにすることは有意義なものと考えた。

## 調査地の概要

当演習林は福岡県粕屋郡久山町と篠栗町にあり、数カ所に分散している。全体としては464haで、演習林としては珍しいほど狭い敷地である。

実際に調査を行ったのは9、10、11班区と呼ばれる事務棟付近の限られた地域である。登記上は福岡県糟屋郡篠栗町津羽黒である。以下、この地域の植生などについて記す。

調査範囲は最大で南北約0.6km、東西1.5km程の丘陵地である。最高標高は107mであるが、実際に調査したのは標高50m前後の地である。当演習林（旧糟屋演習林）が設置されたのは1922年（大正11年）であり、100年前のことである。その当初からあった地と思われる自然植生はカシ類、シイ類、クスノキ、タブノキ、ヤマモモ、コナラ、クロキ、ネズミモチなどと思われる。ただ、ヤ

マモモやクスノキなどは巨木でありながら萌芽を形成するものが多く、ほとんどの樹木が一度伐採を受けているものと思われる。一方で、開設以来、移植された標本林、標本木も多く、普段目にしない不思議な光景も見られる。例えば、旧台湾演習林、宮崎演習林、北海道演習林から持ち込まれた樹木区、ユーカリの見本林、タケ類の見本林、ヤクスギの林、アベマキの林、亜熱帯植物区、街路樹区などといった具合である。樹木となるとさらに多く、バクチノキ、モミ、コウヨウザン、ヌマスギ、メタセコイア、ボダイジュ、ヒメシャラ、カントンアブラギリ、ナギノキなどの珍しい樹木も多い。一方で、スギやヒノキの人工林は全く見られなかった。草本類は特に目につくものはなかったが、外来種や園芸種があちらこちらに見られた。

全体としてかなり乾燥が強く、森林内にもよく日が届くような場所が多かった。また、狭いながらも池やピオトープ（だったと思われる）といった水環境もあり、水生や湿地性の甲虫のよい生息環境となっていた。池は広い草原の中にあり、長径50m、短径10m程の埋もれかけたような状態で、水面はスイレンで覆われ、周りはキショウブやイネ科などの植物で囲まれている。ピオトープの方は林の中にあり、長径7m、短径2m程で、水面はスイレンのほかヒメガマなどが茂っている。こちらも埋もれかかっており、周りにはタデ科植物が密生している。

演習林内にはイノシシやシカ、ノウサギがかなり生息しているようで、個体数は多く、昼間でもたびたび見かけた。

## 出現種リスト

今回の調査は、筆者が過去に行った調査との比較のため、「地表式 FIT (丸山式 FIT) で得られた種」と「地表式 FIT (丸山式 FIT) 以外で得られた種」の2つに分けて行い、それぞれの方法や出現種リストについても2つに分けて報告する。

データは採集年の2024年を省き、採集月日、( )内に採集個体数、同定者名を示す。同定者名は筆者が行ったものはこれを省く。また、科名を入れているが、最近の科の範囲の変更は著しく、ここで使用したものも必ずしも最近のものや順序ではない。

福岡県レッドデータブック2014は福岡県RDB2014と略した。

なお、記録に使用した標本の大部分は九州大学総合研究博物館に保管しているが、一部は九州大学福岡演習林に保管している。

## 1 地表式 FIT (丸山式 FIT) で得られた種

### (1) 調査方法

基本的には丸山(2006)が紹介した屋根付きの簡易式地表設置型 FIT (丸山式 FIT) で、衝突面はA3サイズのクリアファイルを開いた面で、縦43cm、横62cmとなる。これに屋根がつくので、縦が若干狭くなる。受け皿トレイ内の保存液は1%酢酸水に逆性石けん液(オスバン)を数滴加えたもので、回収のたびに新しいものと入れ替えた。

FITは10m四方の範囲に設置し、設置数は12基である。

### (2) 調査場所の環境

設置場所は標高60m、比較的平地になった広葉樹の二次林の中で、高木はヤマモモ、コナラなどが多く、低木はクロキ、ネズミモチなどが多い。ヤマモモは萌芽を形成し、高木は7~8m程にもなる。樹幹はおおむね詰まっているが、林内はやや明るい。下草はほとんどない。落葉層は浅く、硬いヤマモモの葉が覆っている。少し高台になっていて、また、樹木も疎らなので、風が良く通り、常に乾燥しているようである。設置場所のすぐ東側は草原に連なり、西側は下り坂となり演習林の外側へと向かっている。

### (3) 設置期間・回収日

2024年3月15日(最初の設置日)、3月29日(回収日、以下同じ)、4月12日、26日、5月10日、24日、6月7日、19日、7月5日、19日、8月2日、16日、9月2日(最後の回収、撤去日)。

### (4) 調査で得られた種のリスト

種のリストは設置期間を省き、回収日のみを示す。

(オサムシ科)

1. *Carabus japonicus japonicus* Motschulsky ヒメオサムシ VII.5(1)

大型のオサムシは、わずかこの1頭が得られたのみ。

2. *Agonum modestior* (Bates) イクビモリヒラタゴミムシ VI.19(1)
3. *Synuchus nitidus* (Motschulsky) オオクロツヤヒラタゴミムシ V.10(1)
5. *Synuchus melantho* (Bates) コクロツヤヒラタゴミムシ V.10(1)
6. *Stenolophus difficilis* (Hope) ミドリマメゴモクムシ III.29(1)
7. *Chlaenius tetragonoderus* Chaudoi ムナビロアトボシアオゴミムシ VI.19(1)
8. *Chlaenius micans* (Fabricius) オオアトボシアオゴミムシ VIII.2(1)
9. *Lebia bifenestrata* Morawitz フタホシアトキリゴミムシ V.10(1)
10. *Dromius quadraticollis* Morawitz イクビホソアトキリゴミムシ IV.26(1) 今坂氏同定
11. *Galerita orientalis* Schmidt-Göbe クビボソゴミムシ V.10(1)
- (ガムシ科)
12. *Peratogonus reversus* Sharp コウセンマルケシガムシ V.10(1)
- (エンマムシ科)
13. *Bacanius niponicus* Lewis アカツブエンマムシ VII.19(6)
14. *Pachylomalus musculus* (Marseul) ハスジチビヒラタエンマムシ VI.19(3)
15. *Paromalus vernalis* Lewis コチビヒラタエンマムシ V.24(1)
16. *Onthophilus flavicornis* Lewis キノコセスジエンマムシ IV.12(10)
- 3月から5月頃のみ, 地表設置型FITでよく得られる.
17. *Margarinotus niponicus* (Lewis) コエンマムシ IV.12(1)
- (タマキノコムシ科)
18. *Leiodes koreana* Park et Ahn チョウセンオオタマキノコムシ IV.12(4)
19. *Anisotoma didymata* (Portevin) オビスジタマキノコムシ V.10(1), VI.7(1)
- (コケムシ科)
20. *Euconnus fustiger* (Sharp) シリプトヒメコケムシ V.24(1) 橋爪氏同定.

(シデムシ科)

21. *Nicrophorus concolor* Kraatz クロシデムシ V.10(1)
22. *Nicrophorus quadripunctatus* Kraatz ヨツボシモンシデムシ IV.12(1)
23. *Ptomascopus morio* Kraatz コクロシデムシ V.10(1)
24. *Calosilpha brunneicollis* (Kraatz) ベッコウヒラタシデムシ V.24(1)

この4種のシデムシは各地の調査で普通に見られる種だが, 当地での個体数は極端に少なかった.

(デオキノコムシ科)

25. *Episcaphium semirufum* Lewis アカバデオキノコムシ V.24(1)
26. *Scaphidium japonum* Reitter ヤマトデオキノコムシ III.29(1)
27. *Cyparium mikado* Achard カメノコデオキノコムシ VI.7(7)

(ハネカクシ科)

この科の種は, すべて橋爪氏同定.

28. *Micropeplus fulvus japonicus* Sharp セスジチビハネカクシ IV.12(3)
29. *Megarthus japonicus* Sharp ハバビロハネカクシ III.29(1)
30. *Megarthus convexus* Sharp セマルハバビロハネカクシ III.29(1)
31. *Megarthus parallelus* Sharp ムツトゲハバビロハネカクシ III.29(3), IV.12(2), IV.26(9), V.10(6), V.24(2)
32. *Boreaphilus japonicus* Sharp ムネボソヨツメハネカクシ IV.12(1)
33. *Clavilispinus exiguus* (Erichson) ミナミウスイロツツハネカクシ VI.7(1)
34. *Paederus fuscipes* (Curtis) アオバアリガタハネカクシ IV.12(2)
35. *Homaeotarsus kurosai* Itô ツマアカカワベナガエハネカクシ VII.5(1)
36. *Megalimus suffuses* (Sharp) キバネナガハネカクシ VI.19(1)
37. *Hypnogyra tubula* (Sharp) アカバネツツガタナガハネカクシ III.29(7), IV.12(31), IV.26(4)
38. *Liotessa punctiventris* (Sharp) アカバツヤクビナガハネカクシ IV.12(2), IV.26(1)
39. *Bisnius germanus* (Sharp) チャイロニセコガシラハ

- ネカクシ V.24 (3), VI.7 (1)
40. *Philonthus tardus* Kraatz ヘリアカバコガシラハネカクシ IV.26(1), V.24(4), VI.7(3), VI.19(1), VIII.2(2)
41. *Hesperus tiro* (Sharp) ツマグロムネスジハネカクシ V.24(1)
42. *Platydracus brevicornis* (Motschulsky) アカバトガリオオズハネカクシ (アカバハネカクシ) IV.12(1), IV.26(2), V.10(1), VIII.16(1)
43. *Ontholestes gracilis* (Sharp) サビハネカクシ VI.7 (1), VI.19(2), 1(F6), VII.5(2), VII.19(1), VIII.2(1)
44. *Tympanophorus sauteri* Bernhauer カクツヤケシアバタハネカクシ VI.7(3), VI.19(5), VII.5(5), VII.19(2), VIII.2(2)
45. *Lordithon japonicus* (Sharp) ニホンキノコハネカクシ IV.12(3)
46. *Sepedophilus germanus* (Sharp) ムクゲヒメキノコハネカクシ III.29(1) IV.12(1)
47. *Hoplandria spiniventris* Bernhauer ハサミニセヒゲブトハネカクシ IV.12(1)
48. *Saphocallus parviceps* Sharp カクバラハネカクシ IV.12(2) かなり珍しい種である。(丸山氏私信)
49. *Aleochara curtula* (Goeze) ナカアカヒゲブトハネカクシ V.24(2)
50. *Homoeusa prolongata* Sawada ヒラタアリヤドリ V.10(2)
- (クワガタムシ科)
51. *Dorcus rectus rectus* (Motschulsky) コクワガタ VI.19(1)
- (コブスジコガネ科)
52. *Trox opacotuberculatus* Motschulsky ヒメコブスジコガネ III.29(5) 多い.
- (センチコガネ科)
53. *Phelotrupes laevistriatus* (Motschulsky) センチコガネ III.29(1) 多い.
- (アカマダラセンチコガネ科)
54. *Notochodaeus maculatus* (Waterhouse) アカマダラセンチコガネ IV.12(4) 多い.
- (コガネムシ科)
55. *Saprosites japonicus* Waterhouse クロツツマグソコガネ V.24(1)
56. *Aphodius mizo* Nakane ミゾムネマグソコガネ III.29(6) この時期にだけ見られる.
57. *Liatongus phanaeoides* (Westwood) ツノコガネ VII.5(2) 得られたのはこの2頭だけで、当地では個体数は少ないものと思われる。福岡県 RDB2014では絶滅危惧II類に指定されている。福岡県内では近年のシカやイノシシの分布拡大により急激に生息地が広がり、個体数も増している。現在、福岡県 RDB2014の改訂作業を行っているが本種については指定解除を検討している.
58. *Onthophagus lenzii* Harold カドマルエンマコガネ VIII.2(1)
59. *Onthophagus nitidus* Waterhouse ツヤエンマコガネ VI.7(1), VIII.2(2)
60. *Onthophagus atripennis* Waterhouse コブマルエンマコガネ VI.7(1), VII.5(1) 非常に多い.
61. *Onthophagus fodiens* Waterhouse フトカドエンマコガネ III.29(2) 多い.
62. *Paratrichius septemdecimguttatus* (Snellen van Vollenhoven) ジュウシチホシハナムグリ V.10(5), V.24(1) 前者の1頭と後者の1頭は背面が赤地で、他の個体は黒.
63. *Parastasia ferrieri* Nonfried ヨツバコガネ VIII.2(2), VIII.16(1)
64. *Anomala albopilosa albopilosa* Hope アオドウガネ VIII.16(1)
65. *Heptophylla picea picea* Motschulsky ナガチャコガネ VI.19(1)
66. *Gametis jucunda* (Faldermann) コアオハナムグリ V.24(1)
67. *Glycyphana gracilis viridis* Sawada ホソコハナムグリ V.24(1)
68. *Nipponovalgus angusticollis angusticollis* (Waterhouse) ヒラタハナムグリ IV.12(1)
69. *Adoretus tenuimaculatus* Waterhouse コイチャコガネ V.10(1)
70. *Pseudotorynorrhina japonica* (Hope) カナブン VII.19(1)
71. *Nipponoserica pubiventris* Nomura ハラゲビロウドコガネ V.10(1)
72. *Maladera japonica* (Motschulsky) ビロウドコガネ VIII.16(1)

(マルハナノミダマシ科)

73. *Eucinetus haemorrhoidalis* (Germar) ツマアカマルハ  
ナノミダマシ VII.19(2), VIII.2(1)

(マルトゲムシ科)

74. *Simplocaria hispidula* Fairmaire シラフチビマルトゲ  
ムシ IV.12(1)

(ナガハナノミ科)

75. *Ptilodactyla chujoi* Nakane コヒゲナガハナノミ  
VII.19(1)

(タマムシ科)

76. *Agrilus viridiobscurus* E.Saunders アオグロナガタマ  
ムシ V.24(10)

77. *Habroloma subbicornis* (Motschulsky) ヒラタチビタ  
マムシ V.24(1)

78. *Endelus collaris collaris* (E. Saunders) キンイロエグ  
リタマムシ V.10(1), V.24(4)

(コメツキムシ科)

79. *Agrypnus binodulus binodulus* (Motschulsky) サビキ  
コリ V.10(1)

80. *Adelocera difficilis* (Lewis) シロオビチビサビキコリ  
IV.12(1)

81. *Adelocera ichihashii* (Ohira) イチハシチビサビキコ  
リ IV.26(2), IV.26(2) 本州の山地には近似種を産  
するというが、ここでは一応、イチハシチビサビキ  
コリとして記録しておく。

82. *Cryptalaus berus* (Candèze) ウバタマコメツキ  
V.24(1)

83. *Limoniciscus vittatus* (Candèze) タテスジカネコメツキ  
IV.12(1), V.24(1)

84. *Paraphotistus notabilis notabilis* (Candèze) オオヒラ  
タコメツキ V.24(1)

85. *Ampedus carbunculus* (Lewis) ヒメクロコメツキ  
IV.12(1)

86. *Ampedus hypogastricus hypogastricus* (Candèze) アカ  
ハラクロコメツキ IV.12(1)

87. *Procræus helvolus* (Candèze) ヒメホソキコメツキ  
VII.5(2) 今坂氏同定

88. *Podeonius aquilis aquilis* (Candèze) クリイロアシブ  
トコメツキ VII.19(1)

89. *Dolerosomus gracilis* (Candèze) キバネホソコメツキ  
IV.12(1)

90. *Mulsanteus junior junior* (Candèze) ヒゲナガコメツ  
キ IV.26(1)

91. *Mulsanteus linteatus* (Candèze) コヒゲナガコメツキ  
VII.19(6) 通常の採集ではなかなか得難い種だが、  
これ以外にも多数の個体が入っていた。平地～低山  
に設置した地表式 FIT で得られることが多い。

92. *Nipponoelater sieboldi sieboldi* (Candèze) オオナガコ  
メツキ VII.19(1) 多い。

93. *Platynychus adjutor adjutor* (Candèze) アカアシハナ  
コメツキ VI.7(1), VI.19(1)

94. *Melanotus legatus legatus* Candèze クシコメツキ  
V.10(1)

95. *Melanotus spernendus spernendus* Candèze ナガチャ  
クシコメツキ IV.26(2)

(ヒゲブトコメツキ科)

96. *Trixagus micado* Reitter ミカドヒゲブトコメツキ  
IV.12(1)

(コメツキダマシ科)

97. *Microrhagus mystagogus* (Fleutiaux) コガタフチトリ  
コメツキダマシ VI.7(1)

98. *Fornax nipponicus* Fleutiaux コチャイロコメツキダ  
マシ VII.5(1), VII.19(1)

99. *Fornax victor* Fleutiaux オオチャイロコメツキダマ  
シ VI.19(1)

100. *Bioxylyx natsumiae* A. Watanabe ネアカヒメフトコメ  
ツキダマシ VII.5(1)

この科には未同定のもの多数ある。

(ベニボタル科)

101. *Lycostomus modestus* (Kiesenwetter) ベニボタル  
V.24(1)

(ホタル科)

102. *Cyphonocerus ruficollis* Kiesenwetter ムネクリイロボ  
タル V.10(1)

103. *Lucidina biplagiata* (Motschulsky) オバボタル IV.26  
(1)

104. *Drilaster axillaris* Kiesenwetter カタモンミナミボタル  
VI.7(6)

本種は最近の分類体系では、ジョウカイボン科に  
移されている。この日だけに多数の個体が入ってい  
た。

(ジョウカイボン科)

105. *Habronychus providus* (Kiesenwetter) クロヒゲナガ  
ジョウカイ V.10(1)
106. *Lycocerus vitellinus* (Kiesenwetter) セボシジョウカイ  
V.24(1)
107. *Prothemus ciusianus* (Kiesenwetter) マルムネジョウ  
カイ V.10(1)
108. *Asiopodabrus hayato* (Nakane) ハヤトクビボソジョ  
ウカイ IV.26(3) 今坂氏同定
109. *Lycocerus suturellus luteipennis* (Kiesenwetter) ジョ  
ウカイボン西日本亜種 VI.7(1)
110. *Lycocerus japonicus* (Kiesenwetter) ヒメジョウカイ  
IV.26(1) 今坂氏同定

(カツオブシムシ科)

111. *Thaumaglossa rufocapillata* Redtenbacher カマキリタ  
マゴカツオブシムシ VI.7(1)

(ヒョウホンムシ科)

112. *Ptinus senilis senilis* Kiesenwetter ケジロヒョウホン  
ムシ VI.7(2)

(シバンムシ科)

113. *Indanobium kyushuense* (Nakane) ツツガタホソシバ  
ンムシ VII.5(2)
114. *Nesocoelopus miyatakei* Sakai ホソアシシバンムシ  
VIII.16(1)
115. *Byrrhodes nipponicus* Sakai クリイロタマキノコシバ  
ンムシ V.10(1), VI.19(1)

116. *Caenocara rufitarse* (Reitter) ヒメホコリタケシバン  
ムシ VI.19(1)

(コクヌスト科)

117. *Ancyrona haroldi* Reitter ハロルドヒメコクヌスト  
IV.12(1)

(ジョウカイモドキ科)

118. *Intybia histrio* (Kiesenwetter) ヒロオビジョウカイモ  
ドキ IX.2(1)
119. *Kuatunia oblongulus oblongulus* (Kiesenwetter) クギ  
ヌキヒメジョウカイモドキ IV.12(1)

(ムクゲキスイ科)

120. *Biphyllus lewisi* (Reitter) アカグロムクゲキスイ  
III.29(1)

121. *Biphyllus rufopictus* (Wollaston) ハスモンムクゲキス  
イ V.10(1)

(オオキノコムシ科)

122. *Cryptophilus hiranoi* Sasaji アカスジナガムクゲキス  
イ IV.12(1)

123. *Aulacochilus sibiricus bedeli* Harold ルリオオキノコ  
ムシ VII.19(1)

124. *Satelia scitula* Lewis ツヤヒメオオキノコムシ V.24  
(1)

125. *Spondotriplax flavofasciata* Chûjô キオビチビオオキノ  
コムシ VI.19(1), VII.5(1), VII.19(3), VIII.2(2),  
IX.2(1) 極めて稀な種で、福岡県からは2007年に東  
峰村浅間山で1頭採集されて以来の記録である(城  
戸, 2007).

126. *Neotriplax lewisii* (Crotch) アカハバビロオオキノコ  
ムシ IV.12(1)

127. *Triplax canalicollis* Lewis キアシチビオオキノコム  
シ VI.7(1)

128. *Triplax sibirica connectens* (Lewis) シベリアチビオ  
オキノコムシ V.24(1)

129. *Pseudotritoma laetabilis* (Lewis) セグロチビオオキ  
ノコムシ IV.12(2)

130. *Tritoma tripartaria* (Lewis) カタバニチビオオキノ  
コムシ VI.7(1)

131. *Tritoma nipponensis* (Lewis) クロチビオオキノコムシ  
IV.12(1)

132. *Tritoma maculifrons* (Lewis) ミツボシチビオオキノ  
コムシ VII.5(1)

133. *Tritoma nigropunctata* (Lewis) ツマグロチビオオキ  
ノコムシムシ IV.12(2)

稀な種であるが地表式 FIT ではよく得られる。

134. *Dacne kidoi* Nakane カクモンホソオオキノコムシ  
IV.12(8), IV.26(1), V.10 (3), VI.7 (1), VII.5 (1)  
クロキの枯れ木によく見られる種。この FIT を設置  
した付近にもクロキの枯れ木が多数見られた。

(ネスイムシ科)

235. *Rhizophagoides* sp. ニセケブカネスイの近似種  
IV.12(5)

(キスイムシ科)

136. *Cryptophagus decoratus* Grouvelle クロモンキスイ  
IV.12(3)

137. *Atomaria lewisi* Reitter キイロセマルキスイ V.24(1)

- (ヒメハナムシ科)
138. *Olibrus consanguineus* Flach トビイロヒメハナムシ III.29(1)
- (チビヒラタムシ科)
139. *Placonotus fenestratus* (Reitter) キイロチビヒラタムシ V.10(1)
- (ケシキスイ科)
140. *Eपुरaea paulula* Reitter マメヒラタケシキスイ IV.12(1)
141. *Stelidota multiguttata* Reitter マルキマダラケシキスイ IV.12(1)
142. *Ipidia variolosa* Reitter クロヒラタケシキスイ IV.12(1), VI.7(1)
143. *Phenolia picta* (MacLeay) アカマダラケシキスイ V.24(1)
144. *Pocadites dilatimanus* (Reitter) ウスオビカクケシキスイ IV.12(1)
145. *Pocadites japonus* (Reitter) マルガタカクケシキスイ V.10(1)
146. *Neopallodes inermis* Reitter ネアカマルケシキスイ IV.12(2)
- (カクホソカタムシ科)
147. *Thyroderus porcatus* Sharp アナムネカクホソカタムシ VI.19(1)
- (ミジンムシダマシ科)
148. *Aphanocephalus hemisphericus* Wollaston クロミジンムシダマシ V.10(1), VI.19(1)
- (テントウダマシ科)
149. *Ectomychus musculus* (Gorham) クロモンケブカテントウダマシ IV.12(1)
150. *Mycetina amabilis* Gorham キボシテントウダマシ IV.12(1), V.24(1)
151. *Mycetina ancoriger* Gorham イカリモンテントウダマシ V.10(1)
- (テントウムシ科)
152. *Scymnus rectus* (Ohta) オオタツマアカヒメテントウ VII.19(1) 関氏同定
153. *Scymnus posticalis* Sicard コクロヒメテントウ VI.7(1)
154. *Amida tricolor* (Harold) アミダテントウ VIII.2(1), VIII.16(1)
155. *Telsimia nigra* (Weise) クロテントウ V.24(1), VI.7(1) 共に関氏同定
156. *Cryptogonus orbiculus* (Gyllenhal) フタモンクロテントウ III.29(1)
- (ミジンムシ科)
157. *Parmulus politus* (Matthews) ベニモンツヤミジンムシ V.10(1)
- (ツツキノコムシ科)
158. *Nipponocis longisetosus* Nobuchi ケナガナガツツキノコムシ IV.12(1)
- (キノコムシダマシ科)
159. *Synstrophus macrophthalmus* (Reitter) カツオガタナガクチキ VI.7(1)
160. *Holostrophus orientalis* Lewis アヤモンヒメナガクチキムシ VI.7(1)
- (ナガクチキムシ科)
161. *Microtonus dimidiatus* (Marseul) フタモンヒメナガクチキムシ IV.12(1)
- (ハナノミ科)
161. *Glipa shirozui* Nakane オオオビハナノミ VII.19(1) 低山で見られるが, 稀.
- (アトコブゴミムシダマシ科)
162. *Microprius opacus* (Sharp) ツヤケシヒメホソカタムシ V.24(1), VI.19(1) 乾燥に強い種と思われ, 都市部の公園などでも見られる.
163. *Synchita tokaraensis* (Nakane) クロヒメヒラタホソカタムシ V.24(1), VI.19(1), VII.19(2), VIII.2(1)
- (ゴミムシダマシ科)
164. *Uloma marseuli marseuli* Nakane エグリゴミムシダマシ VII.19(1)
165. *Plesiophthalmus nigrocyaneus* Motschulsky キマワリ VII.19(1)
166. *Upinella fuliginosa* (Maklin) オオクチキムシ VII.5(1)
167. *Upinella melanaria* (Maklin) クチキムシ V.24(1)
168. *Borboresthes cruralis* (Marseul) トビイロクチキムシ VII.19(1)
169. *Allecula tenuis* Marseul ホンドホソアカクチキムシ VII.5(1)
170. *Hymenalia rufipennis* (Marseul) アカツヤバネクチキムシ V.10(1)

171. *Isomira oculata* (Marseul) フナガタクチキムシ VI.19(1)
172. *Cteniopinus hypocrita* (Marseul) キイロクチキムシ VI.19(1)
173. *Platydemia subfascia subfascia* (Walker) ベニモンキノコゴミムシダマシ VIII.16(1)
174. *Platydemia higonium* Lewis ヒゴキノコゴミムシダマシ VII.19(2)  
(カミキリモドキ科)
175. *Nacerdes caudata* (Kôno) シリナガカミキリモドキ VI.7(1)  
雄個体. 稀な種と思われ, 県内から英彦山, 鷹巢山, 石割岳, 釈迦岳の記録がある. 山地性の種と思われるが, このような平地に近いところで採れたのには驚いた. 第5腹板は長く, 後縁中央が三角形に深くえぐれ, 生殖節の両葉は細長いなどの特徴がある.
176. *Dryopomera yatoi yatoi* (Nakane) ホソカミキリモドキ IV.26(1)
177. *Oedemera lucidicollis lucidicollis* (Motschulsky) モモブトカミキリモドキ V.24(1)  
(チビキカワムシ科)
178. *Lissodema myrmido* Marseul ドウチビキカワムシ III.29(1), IV.12(1), IV.26(1)  
(アリモドキ科)
179. *Anthicomorphus cruralis* Lewis モモキアリモドキ V.10(1), VII.19(1)
180. *Anthicomorphus niponicus niponicus* Lewis クロチビアリモドキ V.24(1), VII.19(1)
181. *Clavicollis fugiens* (Marseul) アカホソアリモドキ III.29(1), IV.12(1)  
(ニセクビボソムシ科)
182. *Phytobaenus amabilis scapularis* (Marseul) マダラニセクビボソムシ V.24(1)  
(カミキリムシ科)
183. *Lemula decipiens* Bates キバネニセハムシハナカミキリ IV.26(1)
184. *Pyrrhona laeticolor laeticolor* Bates ヘリウスハナカミキリ IV.26(1)
185. *Leptura ochraceofasciata ochrotela* Bates ヨツスジハナカミキリ四国九州亜種 VI.19(1)
186. *Chlorophorus quinquefasciatus* (Laporte & Gory) ヨツスジトラカミキリ VIII.2(1)
187. *Rhaphuma diminuta diminuta* (Bates) ヒメクロトラカミキリ IV.12(1), VI.7(1)
188. *Acalolepta sejuncta sejuncta* (Bates) ニセビロウドカミキリ VII.19(1)
189. *Rhopaloscelis unifasciatus* Blessig ヒトオビアラゲカミキリ V.24(1)
190. *Arhopaloscelis nipponensis* (Pic) フタオビアラゲカミキリ V.24(1)  
(ハムシ科)
191. *Temnaspis japonica* Baly カタビロハムシ IV.12(1)  
ネズミモチに見られる種.
192. *Adiscus lewisii* (Baly) タマツツハムシ VI.19(1)
193. *Chlamisus spilotus* (Baly) ムシクソハムシ III.29(1)
194. *Oomorphoides nigrocaeruleus* (Baly) アオグロツヤハムシ IV.12(1)
195. *Hyperaxis fasciata* (Baly) クロオビカサハラハムシ IV.26(1)
196. *Demotina fasciculata* Baly マダラアラゲサルハムシ IV.26(1)
197. *Demotina bipunctata* Jacoby フタモンアラゲサルハムシ IV.26(1)
198. *Aulacophora nigripennis* Motschulsky クロウリハムシ IV.12(1)
199. *Taphinellina flaviventris* (Motschulsky) キバラヒメハムシ VI.19(1), VII.5(1)
200. *Aphthona perminuta* Baly ツブノミハムシ III.29(1), IV.12(1)
201. *Luperomorpha pryeri* (Baly) クビアカトビハムシ VII.19(1)
202. *Longitarsus bimaculatus* (Baly) クロボシトビハムシ IV.12(1), V.10(1), V.24(1), VIII.2(1)
203. *Hemipyxis flavipennis* (Baly) キバネマルノミハムシ IV.26(1)
204. *Argopus punctipennis punctipennis* (Motschulsky) アカイロマルノミハムシ VI.19(1)
205. *Borowiecius ademptus* (Sharp) チャバラマメゾウムシ IX.2(1)

(ヒゲナガゾウムシ科)

206. *Ozotomerus japonicus japonicus* Sharp ウスモンツツ  
ヒゲナガゾウムシ VIII.16(1)207. *Tropideres roelofsi* (Lewis) クロフヒゲナガゾウムシ  
V.10(1)208. *Aphaulimia debilis* (Sharp) キスジヒゲナガゾウムシ  
VI.7(2)209. *Habrissus unciferoides* (Nakane) ネプトヒゲナガゾ  
ウムシ V.24(1)

(ゾウムシ科)

210. *Myosides seriehispidus* Roelofs チビヒョウタンゾウ  
ムシ III.29(1), V.24(2)211. *Trachyphloeosoma advena* Zimmerman ホソゲチビツ  
チゾウムシ IV.12(1)212. *Trachyphloeosoma roelof* Sharp フトゲチビツチゾウ  
ムシ VII.5(2)213. *Anthonomus minor* Kojima & Morimoto チビハナゾウ  
ムシ IV.26(1)214. *Endaeus flavidus* Kojima & Morimoto キイロアシブ  
トゾウムシ VI.19(1)215. *Omobaris parvula* Kojima & Yoshihara サビカタビロ  
ヒメゾウムシ VI.19(1) 稀な種だが、地表式 FIT  
で得られる。216. *Sinauleutes bigibbosus* (Hustache) ジュウジコブサル  
ゾウムシ V.10(3), V.24(2)217. *Simulatacalles simulator* (Roelofs) ヒサゴクチカクシ  
ゾウムシ VII.5(1)218. *Ectatorhinus adamsii* Pascoe マダラアシゾウムシ  
VIII.2(1)219. *Catabonops monachus* Roelofs ボウサンクチカクシ  
ゾウムシ VII.5(1)220. *Rhadinopus sulcastriatus* (Roelofs) アラハダクチカ  
クシゾウムシ IV.26(2)221. *Caenocryptorrhynchus frontalis* Morimoto アタマクチ  
カクシゾウムシ VII.5(1)222. *Phloeophagosoma curvirostre* Wollaston ワシバナヒ  
メクイゾウムシ IV.12(6), VII.19(1)223. *Macrorhyncholus crassiusculus* Wollaston マツオオキ  
クイゾウムシ VI.19(2)

(オサゾウムシ科)

224. *Dryophthorus sculpturatus* (Wollaston) キクイサビゾ

ウムシ VIII.2(1)

225. *Dryophthoroides sulcatus* Roelofs ニセクイサビゾ  
ウムシ VI.7(1)

(ナガキクイムシ科)

226. *Platypus quercivorus* (Murayama) カシノナガキクイ  
ムシ V.24(1)

(キクイムシ科)

227. *Acanthotomicus spinosus* Blandford シラカシノキク  
イムシ VI.19(1)

## 2 地表式 FIT(丸山式 FIT)以外で得られた種

### (1) 調査方法

主にビーティングによるもので、その他に次のよう  
な方法もとった。

#### ① 吊り下げ式 FIT

衝突面はほぼ A 3 版サイズ(縦型)で、丸山式 FIT  
を設置した雑木林(標高60m)付近やその林縁に計10  
基設置した。3月15日から8月16日までの期間、連続  
して設置した。

#### ② LED ライトトラップ

雑木林の林縁、ナラ枯れのため伐採されたコナラが  
ある場所、草原、池周辺などに計10~12基を6月から  
9月の新月(月始め)を挟んで設置した。ライトは紫  
外線 LED4個を使用した乾電池式。吊り下げ式 FIT の  
形をとったが、衝突板は FIT の機能を避けるため狭い  
もの(20cm 四方)にした。

#### ③ バナナトラップ

2ℓ ペットボトルにバナナを入れたトラップで、7  
月末から8月初旬に4基設置した。

#### ④ 落葉篩い 9月と10月に計3回、落葉を篩った。

#### ⑤ U字溝

演習林内の各地に U 字溝が設置されている。これら  
の U 字溝は地表性の甲虫が多数徘徊しており、一種の  
ピットホール(落とし穴)トラップの役目を果たして  
いる。特に、池付近の草原には幅45cmの大型の U 字溝  
が150m程にわたって設置されて、多種の甲虫が見ら  
れた。

### (2) 調査で得られた種のリスト。

採集方法について、ビーティングやルッキングなど

によるものはこれを省いた。トラップ類による採集については、個体数の後に次のように略記した。

- ① 吊り下げ式 FIT…FIT, ② LED ライトトラップ…LT, ③ バナナトラップ…BT

先に「地表式 FIT (丸山式 FIT) で得られた種」を示したが、ここでは「地表式 FIT (丸山式 FIT) で得られた種」と重複する種はあえて採集しないように努めた。従って特に重要な種や地表式 FIT で採集されるより前に採集した種を除きこのリストには掲載していない。和名の後に※を付した種は「地表式 FIT (丸山式 FIT) で得られた種」で記録した種と重複する種である。

(ナガヒラタムシ科)

1. *Tenomerga mucida* (Chevrolat) ナガヒラタムシ VII.2-5(1-LT), VIII.2-5(1-LT)

(ハンミョウ科)

2. *Myriochila speculifera speculifera* (Chevrolat) コハンミョウ VIII.5-9(1-LT)

ハンミョウ科で得られたのは、この1種1頭のみ。

(ヒゲブトオサムシ科)

3. *Eustra japonica* Bates エグリゴミムシ IX.5(1-落葉中), IX.24(3-落葉中)

(オサムシ科)

4. *Scarites terricola pacificus* Bates ナガヒョウタンゴミムシ VIII.16(1-U字溝)

次種が見られたU字溝から1頭だけ採集できた。普通種で、県内各地の河川敷や荒地から記録されている。中脛節外縁に1本の棘がある。

5. *Scarites acutidens* Chaudoir ホソヒョウタンゴミムシ V.24(1-U字溝), VI.7(3-U字溝), VI.19(1-U字溝), VIII.9(1-U字溝)

池の近くの草原中のU字溝に多数見られた。福岡県初記録。前種とは前胸の形ではほとんど区別ができない。中根(1953)が示すように中脛節外縁に2本の棘があることと、後角付近に顆粒があることで確実に区別できる。

6. *Clivina schillhammeri* Balkenoh ツヤヒメヒョウタンゴミムシ V.29(2-U字溝), VI.3(4-U字溝), VI.11(2-U字溝), VII.2-5(1-LT), VII.5-9(2-LT), VII.29-VIII.2(14-LT), VIII.2-5(7-LT), VIII.5-9(1-LT)

前種がいたU字溝に多数見られ、付近に設置した

ライトトラップにも多数飛来した。

7. *Clivina lewisi* Andrewes クロヒメヒョウタンゴミムシ VII.29-VIII.2(2-LT)

8. *Clivina vulgivaga* Boheman コヒメヒョウタンゴミムシ IX.5-9(1-LT)

前種と共にライトトラップに飛来したが、両種ともここに記録した個体のみ。

9. *Perileptus japonicus* Bates ホソチビゴミムシ VII.5-9(2-LT) 今坂氏同定 平地性の種。

10. *Tachyura fumicata* (Motschulsky) クリイロコミズギワゴミムシ VII.2-5(3-LT), VII.5-9(6-LT), VII.29-VIII.2(3) 今坂氏同定 県内各地の記録がある。

11. *Tachyura laetifica* (Bates) ヨツモンコミズギワゴミムシ VII.2-5(1-LT), VII.5-9(5-LT)

12. *Bembidion niloticum batesi* Putzeys アトモンミズギワゴミムシ VII.5-9(6-LT)

13. *Archipatrobis flavipes flavipes* Motschulsky キアシヌレチゴミムシ VIII.5(1-U字溝)

14. *Lesticus magnus* (Motschulsky) オオゴミムシ V.24(1-U字溝)

15. *Trigonotoma lewisii* Bates ルイスオオゴミムシ VII.22(1-U字溝)

16. *Poecilus versicolor* (Sturm) キンナガゴミムシ VIII.21(1), IX.2(1-U字溝)

17. *Pterostichus procephalus* Bates ナガサキヒメナガゴミムシ V.24(1) 今坂氏同定

18. *Platynus magnus* (Bates) オオヒラタゴミムシ V.16(1)

19. *Anchomenus leucopus* (Bates) タンゴヒラタゴミムシ VII.2-5(1-LT), VII.5-9(1-LT), IX.2-5(2-LT), IX.5-9(1-LT)

20. *Agonum ogurae* (Bates) オグラヒラタゴミムシ VII.5-9(1-LT)

21. *Metacolpodes buchannani* (Hope) オオアオモリヒラタゴミムシ III.29(1), VI.3-7(1-LT), VII.5-9(1-LT)

22. *Agonum japonicum japonicum* (Motschulsky) ハラアカモリヒラタゴミムシ III.29(1), VII.5-9(1-LT), IX.5-9(1-LT), IX.5-9(2-LT)

23. *Dolichus halensis* (Schaller) セアカヒラタゴミムシ V.24(1-U字溝), VI.11(1-U字溝)

24. *Synuchus arcuaticollis* (Motschulsky) マルガタツヤ

- ヒラタゴミムシ VIII.5(2-U字溝), IX.24(1-落葉中)
25. *Amara simplicidens* Morawitz コマルガタゴミムシ VIII.5(2-U字溝) 今坂氏同定
26. *Amara congrua* Morawitz ニセマルガタゴミムシ V.2(1)
27. *Harpalomimetes fukiensis* (Jedlička) タナカツヤハネゴミムシ VII.5-9(1-LT) 今坂氏同定
28. *Harpalus capito* Morawitz オオゴモクムシ VI.11(1-U字溝)
29. *Harpalus griseus* (Panzer) ケウスゴモクムシ IX.5-9(1-LT)
30. *Harpalus eous* Tschitschérine オオズケゴモクムシ VI.7(1-U字溝), VIII.5(1-U字溝), X.2-5(1-LT)
31. *Harpalus pastor sinicus* Hope ウスアカクロゴモクムシ VI.3-7(1-LT), VII.9(1-U字溝) 共に今坂氏同定, V.24(1-U字溝)
32. *Harpalus tinctulus tinctulus* Bates アカアシマルガタゴモクムシ V.2(1), V.29(1-U字溝) 共に今坂氏同定, X.25(1-U字溝)
33. *Platymetopus flavilabris* (Fabricius) カラカネゴモクムシ VII.2-5(1-LT), VII.5-9(1-LT), VIII.5-9(1-LT) 乾燥した荒れ地に見られる種.
34. *Trichotichnus noctuabundus* Habu ヒコサンツヤゴモクムシ VII.5-9(1-LT), IX.5-9(1-LT) 今坂氏同定
35. *Acupalpus inornatus* Bates キイロチビゴモクムシ VII.2-5(3-LT), VII.5-9(2-LT), VIII.2-5(1-LT)
36. *Stenolophus fulvicornis* Bates マメゴモクムシ VI.3-7(1-LT)
37. *Stenolophus difficilis* (Hope) ミドリマメゴモクムシ ※ VI.3-7(1-LT)
38. *Loxoncus circumcinctus* (Motschulsky) キベリゴモクムシ VII.2-5(1-LT), IX.5-9(2-LT) 今坂氏同定
39. *Diplocheila zeelandica* (Redtenbacher) オオスナハラゴミムシ VIII.9(1-U字溝)
40. *Dischissus japonicus* Andrewes ニッポンヨツボシゴミムシ VI.7(1-U字溝)
41. *Chlaenius nigricans* Wiedemann オオキベリアオゴミムシ VII.2-5(1-LT)
42. *Chlaenius virgulifer* Chaudoir アトワアオゴミムシ VI.7(1-U字溝), VIII.16(1-U字溝)
43. *Chlaenius micans* (Fabricius) オオアトボシアオゴミムシ※ VI.11(2-U字溝)
44. *Chlaenius tetragonoderus* Chaudoi ムナビロアトボシアオゴミムシ※ VIII.2-5(1-LT)
45. *Chlaenius hamifer* Chaudoir コアトワアオゴミムシ VII.29-VIII.2(1-LT), IX.2-5(1-LT), IX.5-9(1-LT) つい最近, 久留米市北野町の筑後川から福岡県初記録として報告されている。(今坂・有馬・國分・斉藤, 2024)
46. *Oodes vicarious* Bates オオトックリゴミムシ VIII.2-5(1-LT) 珍しい種で, 近くでは篠栗町高田の記録がある.
47. *Perigona nigriceps* (Dejean) クロズホナシゴミムシ IV.26-V.10(FIT-1), VIII.2-5(1-LT), IX.24(3-落葉中)
48. *Archicolluris bimaculata nipponica* Habu フタモンクビナガゴミムシ VII.29-VIII.2(1-LT)
49. *Pentagonica subcordicollis* Bates クロツブゴミムシ VII.5-9(1-LT)
50. *Aephnidius adelioides* (MacLeay) トゲアトキリゴミムシ IX.2-5(1-LT) 平地性の種で, 熱帯域に広く分布する. 福岡県から行橋市沓尾海岸(高倉, 1974)の記録がある.
51. *Coptodera japonica* Bates コキノコゴミムシ VII.29-VIII.2(1-LT), IX.2-5(1-LT)
52. *Coptodera osakana* (Nakane, Ohkura & S.Uéno) ヒメキノコゴミムシ VII.5-9(1-LT), VII.29-VIII.2(1-LT)
53. *Coptodera subapicalis* Putzeys ハギキノコゴミムシ VIII.2-5(2-LT)
54. *Lioptera erotyloides* Bates キノコゴミムシ VII.5-9(1-LT) 稀な種で, 福岡県からうきは市浮羽町新川(城戸, 2023)の記録がある.
55. *Dolichoctis striatus striatus* Schmidt-Göbel コヨツボシアトキリゴミムシ VI.19(1), VIII.2-5(2-LT)
56. *Anomotarus stigmula* (Chaudoir) キボシアトキリゴミムシ IX.24(5-落葉中) 落葉下に生息する種. 筆者は県内各地で落ち葉篩をしてきたが, 初めて採集した. 福岡県初記録.
57. *Orionella lewisii* (Bates) メダカアトキリゴミムシ VII.2-5(2-LT), IX.2-5(1-LT)
58. *Parena nigrolineata nipponensis* Habu クロヘリアトキリゴミムシ V.29(1)

59. *Parena cavipennis* (Bates) ヒラタアトキリゴミムシ VII.29-VIII.2(2-LT)
60. *Lebia retrofasciata* Motschulsky ジュウジアトキリゴミムシ III.29(1), VI.19(1)
61. *Lebia calycophora* Schmidt-Göbel ホシハネピロアトキリゴミムシ IV.12(1), VIII.2-5 (1-LT)
62. *Lachnolebia cribricollis* (Morawitz) キクピアオアトキリゴミムシ V.16(1)
63. *Philorhizus optimus* (Bates) キイロアトキリゴミムシ IX.24(1- 落葉中)  
稀な種で、福岡県 RDB2014では準絶滅危惧種に指定されている。
64. *Planetes puncticeps* Andrewes フタホシスジバネゴミムシ V.16(1)
65. *Drypta japonica* Bates アオヘリホソゴミムシ VII.5-9(1-LT)  
筑後川など大川の河川敷などに見られる種で、当地での発見には驚いた。  
(クビボソゴミムシ科)
66. *Pheropsophus jessoensis* Morawitz ミイデラゴミムシ VI.11(1-U 字溝) U 字溝に多数見られた。
67. *Brachinus scotomedes* Redtenbacher オオホソクビゴミムシ VI.11(1-U 字溝)
68. *Brachinus incomptus* Bates ヒメホソクビゴミムシ VIII.2-5(1-LT), IX.5-9(1-LT) 今坂氏同定  
低地の河川敷や水田地帯に生息する種という。愛知県 RDE2014 では絶滅危惧 2 類に指定されている。福岡県初記録。  
(コガシラミズムシ科)
69. *Peltodytes intermedius* (Sharp) コガシラミズムシ VII.29-VIII.2(1-LT), VIII.2-5(1-LT)  
この科と続くゲンゴロウ科、ガムシ科の内、ライトトラップに飛来した種はすべて池周辺に設置したトラップによるもの。  
(ゲンゴロウ科)
70. *Hydrovatus acuminatus* Motschulsky コマルケシゲンゴロウ VII.2-5(1-LT), IX.2-5(1-LT)
71. *Hydroglyphus japonicus* (Sharp) チビゲンゴロウ VII.5-9(2-LT)
72. *Eretes sticticus* (Linnaeus) ハイイロゲンゴロウ VII.2-5(1-LT)
73. *Hydaticus grammicus* (Germar) コシマゲンゴロウ VII.5-9(1-LT)
74. *Hydaticus rhantoides* Sharp ウスイロシマゲンゴロウ VII.29-VIII.2(1-LT), IX.2-5(2-LT), IX.5-9(1-LT)  
(ガムシ科)
75. *Coelostoma stultum* (Walker) セマルガムシ V.29(2-U 字溝), VII.2-5(2-LT)
76. *Peratogonus reversus* Sharp コウセンマルケシガムシ ※ IX.5(1), IX.5(1- 落葉中)
77. *Cercyon usutus* Sharp ケシガムシ III.15-29(FIT-1)
78. *Helochares pallens* (MacLeay) ルイスヒラタガムシ VII.29-VIII.2(5-LT) 今坂氏同定
79. *Enochrus esuriens* (Walker) チビヒラタガムシ VII.2-5(6-LT)
80. *Enochrus japonicus* (Sharp) キベリヒラタガムシ VII.2-5(4-LT), VII.29-VIII.2(1-LT)
81. *Sternolophus rufipes* (Fabricius) ヒメガムシ VI.19(1-U 字溝)  
(エンマムシ科)
82. *Bacanius niponicus* Lewis アカツブエンマムシ ※ VI.3-7(1-LT), VII.2-5(3-LT), IX.5(2-落葉中), IX.24(3- 落葉中) ライトトラップには多数飛来し、落葉中にも多数見られた。
83. *Pachylomalus musculus* (Marseul) ハスジチビヒラタエンマムシ ※ V.10-24(FIT-1), V.24-VI.7(FIT-2), IX.24(2- 落葉中) 沿岸部などの暖地の落葉中に多い種。
84. *Hister japonicus* Marseul ヤマトエンマムシ VII.5(1-U 字溝)  
2002年に糸島市志摩桜井(城戸, 2004)で採集されて以来記録がなかった種。本種のような大型のエンマムシ類は個体数、産地とも急減少している。
85. *Hister salebrosus subsolanus* (Newton) アラメエンマムシ V.24(3), V.29(2), VI.3(2), VI.7(2), VI.11(11), VI.19(17), VII.5(14), VII.9(13), VII.22(7), VII.29(11), VIII.5(8), VIII.9(2), VIII.16(18), VIII.21(13), IX.2(5), IX.5(1), IX.24(1) すべて U 字溝。  
城戸(2024)で一部を記録済みだが、ここでは採集した全記録を示した。低地の河川敷や草原に生息する種で、稀なものとされてきた。そのため、いくつかの県 RDB に掲載されている。

- 当地ではU字溝によく見られ、コンクリートの壁面を伝って出入りしているものも見た。詳しい生態は不明だが、このように多数見られるのには大変驚いた。
86. *Paromalus vernalis* Lewis コチビヒラタエンマムシ  
※ IV.26-V.10(FIT-1)  
(タマキノコムシ科)
87. *Dermatohomoeus terrenus* (Hisamatsu) オチバヒメタマキノコムシ IX.24(2- 落葉中)  
落葉中に生息する種で、多数見られた。  
(シデムシ科)
88. *Necrodes nigricornis* Harold モモブトシデムシ VII.29-VIII.2(1-LT)
89. *Eusilpha japonica* (Motschulsky) オオヒラタシデムシ V.24(1-U 字溝)  
(デオキノコムシ科)
90. *Scaphidium incisum* Lewis ヒメクロデオキノコムシ IX.2(1)  
(ハネカクシ科)
91. *Paederus fuscipes* (Curtis) アオバアリガタハネカクシ※ VII.5-9(1-LT) 多数飛来した。
92. *Platydacus brevicornis* (Motschulsky) アカバトガリオオズハネカクシ (アカバハネカクシ) ※ VII.29(1-U 字溝), VIII.5(2-U 字溝) 今坂氏同定
93. *Platydacus sharpi* Fauvel カラカネトガリオオズハネカクシ (カラカネハネカクシ) VII.22(1-U 字溝), VIII.5(3-U 字溝) この種はクロガネトガリオオズハネカクシ (クロガネハネカクシ) に近似だが、雄の第6腹板中央に黒褐色毛塊があること、第7腹板中央が三角形に大きくえぐられることで区別できる。福岡県初記録。
94. *Agelosus weisei* (Harold) キンボシマルズオオハネカクシ (キンボシハネカクシ) VI.19(1) 橋爪氏同定, VII.29(1-U 字溝), VIII.5(1-U 字溝) 6月のものは草の根際を這っていた。草の間に見え隠れする金色の毛塊が非常に美しかった。県内から1981年に福岡市東区美和台で採集 (直海, 1982) されて以来、40年以上記録がなかった種である。
95. *Algon grandicollis* Sharp ムネビロハネカクシ VIII.5(1-U 字溝) 今坂氏同定
96. *Isocheilus staphylinoides* (Kraatz) ニセトガリハネカクシ VII.29-VIII.5(1-LT) 橋爪氏同定
97. *Lithocharis nigriceps* Kraatz クロズトガリハネカクシ VII.29-VIII.5(2-LT) 橋爪氏同定
98. *Scopaeus virilis* Sharp チビヒメクビボソハネカクシ VII.29-VIII.5(1-LT) 橋爪氏同定
99. *Scopaeus complex* Sharp ヤマトヒメクビボソハネカクシ VII.29-VIII.5(2-LT) 橋爪氏同定
100. *Homaeotarsus kurosai* Itô ツマアカカワベナガエハネカクシ※ VII.29-VIII.5(3-LT) 橋爪氏同定
101. *Philonthus numata* Dvořák キアシチビコガシラハネカクシ VII.29-VIII.5(7-LT) 橋爪氏同定  
(クワガタムシ科)
102. *Prosopocoilus inclinatus inclinatus* (Motschulsky) ノコギリクワガタ VI.11(1) クリ。
103. *Dorcus rectus rectus* (Motschulsky) コクワガタ※ VII.22(1) タブ, シラカシなどに多い。
104. *Dorcus titanus pilifer* (Snellen van Vollenhoven) ヒラタクワガタ VII.5(1), VIII.2-5(1-LT)  
前者はアキニレの樹液にいたもの。  
(コガネムシ科)
105. *Aphodius troitzyi* Jacobson マルツヤマグソコガネ VII.5-19(FIT-1), VII.5-9(1-LT), VII.19-VIII.2(FIT-1) 珍しい種である。
106. *Aphodius mizo* Nakane ミゾムネマグソコガネ※ III.15-29(FIT-2)
107. *Ataenius australasiae* (Boheman) オオニセツツマグソコガネ VII.5-9(1-LT) 今坂氏同定, VII.29-VIII.2(2-LT), VIII.2-5(1-LT)  
平地や低山地で見られ、灯火にも飛来する。最近になって分布を拡大しているようである。
108. *Onthophagus lenzii* Harold カドマルエンマコガネ※ VI.3-7(1-LT), VI.19(4-U 字溝) 当地では多い種で、U字溝の中でよく見かける。
109. *Onthophagus nitidus* Waterhouse ツヤエンマコガネ※ V.29(1-U 字溝), VII.29-VIII.2(2-LT) 今坂氏同定多い。
110. *Paratrichius septemdecimguttatus* (Snellen van Vollenhoven) ジュウシチホシハナムグリ※ V.10-24(FIT-1)
111. *Lasiotrichinus succinctus* (Pallas) ヒメトラハナムグリ VI.7(1), VII.19-VIII.2(FIT-1) 前者はマテバシ

- イの花にいた。
112. *Rhomborhina polita* Waterhouse クロカナブン VII. 25-29(1-BT) 平地性の種で少ない種だが、バナナトラップには多数飛来していた。
113. *Pseudotorynorrhina japonica* (Hope) カナブン※ VII.5(1) アキニレの樹液、多い。
114. *Protaetia brevitarsis brevitarsis* (Lewis) シラホシハナムグリ VI. 3(1), VI.7(1), VI.11(1), VII.22-25(2-BT), VII.25(2)  
6月中はクリの花などに次種と共に見られたが、7月に入ってシラカシの樹液やバナナトラップに多数集まるようになった。福岡県では広い範囲から記録があるが、古い記録が多く、なかなか採集しがたい種である。山地よりもむしろ平地に見られるようで、福岡市周辺からたびたび得られている。当地では普通に見られ、むしろ次種よりも多いようである。
115. *Protaetia orientalis submarmorea* (Burmeister) シロテンハナムグリ VI.3(1), VI.19(1) VII.25-29(1-BT) 県内各地に普通に見られる種。
116. *Gametis jucunda* (Faldermann) コアオハナムグリ※ IV.12(1)
117. *Glycyphana gracilis viridis* Sawada ホソコハナムグリ※ IV.17(1), V.10(9), V.10-24(FIT-1), V.24(1), VI.19(11)  
平地や低山で稀に見られる種。当地では多く、イボタ、ニオイシュロラン、ムクロジの花に多数見られた。県内でこのように多くみられる場所は稀。
118. *Cetonia pilifera pilifera* (Motschulsky) ナミハナムグリ VI.3(1)  
次種と共にネズミモチの花に飛来していた。
119. *Eucetonia roelofsi roelofsi* (Harold) アオハナムグリ VI.3(1) ネズミモチ。
120. *Glycyphana fulvitemma* Motschulsky クロハナムグリ V.24(1), VI.3(1), VI.19(5)  
多いものではないが、当地ではネズミモチ、クリなどの花によく見られた。
121. *Adoretus tenuimaculatus* Waterhouse コイチャコガネ※ IV.17(1)
122. *Popillia japonica* Newmann マメコガネ VI.3(1) VI.3(1)
123. *Exomala orientalis* (Waterhouse) セマダラコガネ VI.3(1)
124. *Anomala cuprea* (Hope) ドウガネブイブイ VI.7(1)
125. *Anomala albopilosa albopilosa* Hope アオドウガネ※ VI.19(1)
126. *Anomala octiescostata* Burmeister ヒラタアオコガネ IV.12(1)
127. *Anomala testaceipes* (Motschulsky) スジコガネ VII.5-9(1-LT)
128. *Phyllopertha diversa* Waterhouse ウスチャコガネ IV.12(6)  
4～5月頃、ウバメガシの花に多数集まっていた。
129. *Parastasia ferrieri* Nonfried ヨツバコガネ※ VII. 5-19(FIT-1), VII.5-9(1-LT), VII.19-VIII.2(FIT-4), VII.29-VIII.2(1-LT), VIII.2-5(4-LT), VIII.5-9(4-LT), VIII.2-16(FIT-1)  
良好な自然林に多い種で、灯火に飛来する。日中は固い朽木の中に潜っていて、まず見かけることはない。当地では多い。
130. *Trypoxylus dichotomus septentrionalis* Kôno カブトムシ VII.25-29(1-BT)  
シラカシの樹液でもよく見かけた。
131. *Ectinohoplia obducta* (Waterhouse) ヒメアシナガコガネ IV.17(1)
132. *Nigrotrichia kiotoensis* (Brenske) クロコガネ V.24(1-U字溝)
133. *Holotrichia picea* Waterhouse コクロコガネ VII.2-5(1-LT)
134. *Holotrichia parallela* (Motschulsky) オオクロコガネ VI.3(1)
135. *Miridiba castanea* (Waterhouse) クリイロコガネ VI.3-7(1-LT)
136. *Nipponoserica pubiventris* Nomura ハラゲビロウドコガネ※ IV.12-26(FIT-1), IV.26-V.10(FIT-3)
137. *Maladera secreta secreta* (Brenske) マルガタビロウドコガネ VI.3-7(1-LT)
138. *Maladera japonica* (Motschulsky) ビロウドコガネ※ VII.29-VIII.2(1-LT), VIII.2-5(1-LT)
139. *Maladera cariniceps* (Moser) スジビロウドコガネ VI.11(1-U字溝)  
大きな河川のアシ原などに生息する種で、当地で発見には驚いた。

(マルハナノミダマシ科)

140. *Eucinetus haemorrhoidalis* (Germar) ツマアカマルハ  
ナノミダマシ※ VII.2-5(1-LT), VII.5-9(3-LT) 稀  
な種である。

(マルハナノミ科)

141. *Contacyphon consobrinus* (Nyholm) チャイロチビマ  
ルハナノミ VII.5-9(1-LT) 今坂氏同定
142. *Sacodes nakanei* (Klausnitzer) コキムネマルハナノ  
ミ IV.26(1)
143. *Prionocyphon ovalis* Kiesenwetter セダカマルハナノ  
ミ VI.3-7(1-LT), VII.29-VIII.2(1-LT)
144. *Scirtes japonicus* (Kiesenwetter) トビイロマルハナノ  
ミ VII.29-VIII.2(1-LT)

(マルトゲムシ科)

145. *Simplocaria hispidula* Fairmaire シラフチビマルトゲ  
ムシ※ IX.5(1-落葉中)
146. *Microchaetes* sp. ミナミケモンマルトゲムシ VII.  
2-5(6-LT), VII.5-9(2-LT)

最近になって日本各地で採集されている種。福岡  
県でも釈迦岳や筑後川から記録され、県内では3ヶ  
所目の産地となる。この属の分布はオーストラリア・  
タスマニアに限られ、侵入種と言われる。

(チビドロムシ科)

147. *Pelochares ryukyensis* M.Satô リュウキュウダエン  
チビドロムシ VII.2-5(3-LT), VII.29-VIII.2(1-LT)  
共に今坂氏同定

(ヒメドロムシ科)

148. *Ordobrevia foveicollis* (Schönfeldt) キスジミゾドロ  
ムシ VII.2-5(1-LT), VII.5-9(1-LT), IX.5-9(1-LT)

(ドロムシ科)

149. *Elmomorphus brevicornis* Sharp ムナビロツヤドロム  
シ VIII.2-5(1-LT), VIII.5-9(1-LT)

(ヒラタドロムシ科)

150. *Eubrianax ramicornis* Kiesenwetter マルヒラタドロ  
ムシ IV.17(1)

(ナガドロムシ科)

151. *Heterocerus fenestratus* Thunberg タテスジナガドロ  
ムシ VII.29-VIII.2(1-LT), VIII.5-9(1-LT), IX.2-5  
(3-LT) トラップに多数飛来した。

(ナガハナノミ科)

152. *Ptilodactyla chujoii* Nakane コヒゲナガハナノミ※

VII.2-5(2-LT)

(タマムシ科)

153. *Chrysochroa fulgidissima fulgidissima* (Schönherr) タ  
マムシ VII.9(1) アキニレの傍を旋回していた。
154. *Chrysobothris succedanea* E. Saunders ムツボシタマ  
ムシ VI.3(2)
155. *Agrius viridiobscurus* E. Saunders アオグロナガタマ  
ムシ※ V.2(6), V.24(3)
156. *Agrius chekiangensis* Gebhardt キュウシュウナガタ  
マムシ V.24 (2) 今坂氏同定
157. *Agrius imitans* Lewis ムネアカナガタマムシ V.29  
(1)
158. *Agrius tempestivus* Lewis ウグイスナガタマムシ  
V.29(1), VI.7(1)
159. *Endelus collaris collaris* (E. Saunders) キンイロエグ  
リタマムシ※ V.10(3), IV.26-V.10(FIT-1), V.10-24  
(FIT-2) ベニシダに多い。
160. *Trachys auricollis* E. Saunders クズノチビタマムシ  
IV.26(1), IX.24(2)
161. *Trachys inconspicua* E. Saunders ウメチビタマムシ  
VII.29(4) ウメに多い。
162. *Trachys broussonetiae* Y. Kurosawa コウゾチビタマ  
ムシ IV.26-V.10(FIT-1)
163. *Trachys reitteri* Obenberge マメチビタマムシ IX.2  
(2), IX.5(2), IX.5(2) ノササゲ。
164. *Trachys yamoi* Y. Kurosawa ヤノナミガタチビタマム  
シ IV.12(3) ケヤキ。
165. *Trachys robustus* E. Saunders サシゲチビタマムシ  
IX.5(1), IX.24(1)  
スタジイに見られる暖地性の種で、福岡県では稀。
166. *Habroloma subbicornis* (Motschulsky) ヒラタチビタ  
マムシ※ V.2(1)  
(コメツキムシ科)
167. *Pectocera hige hige* Kishii ヒゲコメツキ IV.17(1)
168. *Agrypnus binodulus binodulus* (Motschulsky) サビキ  
コリ※ IV.17(1)
169. *Agrypnus tsushimensis tsushimensis* Ôhira ツシマヒメ  
サビキコリ V.29(4-U字溝) 多い。
170. *Adelocera difficilis* (Lewis) シロオビチビサビキコリ  
※ III.29-IV.12(FIT-6)
171. *Adelocera ichihashii* Ôhira イチハシチビサビキコリ

- ※ III.29-IV.12(FIT-2), IV.12-26(FIT-5)  
シイに見られる種で, 産地は局所的.
172. *Lacon parallelus parallelus* (Lewis) コガタノサビコ  
メツキ VIII.5-9(2-LT)
173. *Lacon maeklinii maeklinii* (Candèze) オオサビコメツ  
キ VII.2-5(1-LT)
174. *Cryptalaus larvatus pini* (Lewis) フタモンウバタマ  
コメツキ V.29(1) シラカシの樹液に多数集まっ  
ているものを見かけた.
175. *Tetrigus lewisi* Candèze オオクシヒゲコメツキ  
VII.2-5(1-LT), VII.29-VIII.2(1-LT)
176. *Drasterius agnatus* (Candèze) マダラチビコメツキ  
VIII.5-9(1-LT), VIII.9(1-U字溝)
177. *Limonicus atricolor* (Lewis) クロカネコメツキ  
IV.26(1)
178. *Paraphotistus notabilis notabilis* (Candèze) オオナガ  
ヒラタコメツキ IV.26(1)
179. *Corymbitodes gratus* (Lewis) ドウガネヒラタコメツ  
キ IV.12(1), IV.17(1)
180. *Actenicerus pruinus* (Motschulsky) シモフリコメ  
ツキ IV.17(2)  
平地性の種で, 最近はあまり見なくなった. 明る  
く乾燥した照葉樹林で見られる.
181. *Hemicrepidius desertor desertor* (Candèze) ヒメクロ  
ツヤハダコメツキ V.29(3)
182. *Haterumelater bicarinatus bicarinatus* (Candèze)  
チャイロコメツキ VII.5-19(FIT-1), VII.2-5(1-LT)
183. *Agaripenthes helvolus* (Candèze) ヒメホソキコメツ  
キ V.24-VI.7(FIT-1), VI.7-9(1-LT) 今坂氏同定
184. *Podeonius aquilis aquilis* (Candèze) クリイロアシブ  
トコメツキ※ VII.2-5(2-LT)
185. *Lanecarus palustris* (Lewis) ニセクチブトコメツキ  
VII.5-9(1-LT)
186. *Glyphonyx bicolor bicolor* Candèze キバネクチボソ  
コメツキ VI.7(1), VI.11(3), VII.2-5(1-LT), VII.  
5-9(1-LT)
187. *Dolerosomus gracilis* (Candèze) キバネホソコメツキ  
VII.2-5(1-LT) 今坂氏同定
188. *Mulsanteus junior junior* (Candèze) ヒゲナガコメツ  
キ※ IV.17(1)
189. *Nipponoelater sieboldi sieboldi* (Candèze) オオナガ  
コメツキ※ VII.2-5(1-LT), VII.19-VIII.2(FIT-1)
190. *Platynychus adjutor adjutor* (Candèze) アカアシハナ  
コメツキ※ V.29(1)
191. *Melanotus legatus legatus* Candèze クシコメツキ  
IV.17(1) ※
192. *Melanotus lewisi lewisi* Schenkling ルイスクシコメツ  
キ VII.5-19(FIT-1), VII.29-VIII.2(1-LT), VIII.2-5  
(1-LT) 大型のクシコメツキで, 平地・暖地で見ら  
れる.
193. *Melanotus legatoides* Kishii ヒメクシコメツキ VII.  
29-VIII.2(1-LT)
194. *Melanotus annosus* Candèze クロツヤクシコメツキ  
IV.17(1), V.29(1)  
(コメツキダマシ科)
195. *Poecilochrus japonicus* Fleutiaux ウスグロミゾコメツ  
キダマシ VII.5(1), VII.2-5(4-LT), VII.5-9(2-LT)  
たびたび得られたが, 一般には稀な種である.
196. *Microrhagus mystagogus* (Fleutiaux) コガタフチトリ  
コメツキダマシ※ V.10-24(FIT-1)
197. *Fornax nipponicus* Fleutiaux コチャイロコメツキダ  
マシ※ VII.2-5(1-LT), VII.5-9(2-LT)
198. *Fornax consobrinus* Hisamatsu ヒメチャイロコメツ  
キダマシ VII.5-19(FIT-1)
199. *Fornax victor* Fleutiaux オオチャイロコメツキダマシ  
※ VII.5-19(FIT-1)  
この属の種は新たなものが複数知られているが,  
一応既知種で同定している.
200. *Farsus aimu* Fleutiaux アイヌコメツキダマシ  
VII.2-5(5-LT), VII.5-9(2-LT)  
(ベニボタル科)
201. *Lycostomus modestus* (Kiesenwetter) ベニボタル※  
V.24(1)
202. *Plateros coracinus* (Kiesenwetter) クロハナボタル  
V.2(1), V.29(1), VI.3-7(2-LT), VII.5-9(5-LT),  
VII.29-VIII.2(3-LT), VIII.2-5(2-LT)
203. *Plateros koreanus* Kleine チョウセンハナボタル  
VI.7(1), VI.3-7(6-LT), VI.11(1), VII.5-9(3-LT),  
VII.29-VIII.2(6-LT), VIII.2-5(1-LT), VIII.5-9  
(2-LT), IX.2-5(4-LT), IX.5-9(15-LT)  
黄色のベニボタルで良く目につく. 平地や丘陵地  
などの草原やそれに近い環境下に見られ, 県内では

- 北九州市小倉南区，福智町の古い記録があったが，最近になってうきは市浮羽町新川（城戸，2023）や筑後川中流域（今坂ほか，2024）からも記録された。当地では多く見られたが，一般には珍しい種である。
204. *Lyponia delicatula* (Kiesenwetter) ヒメベニボタル IV.12-26(FIT-1)
205. *Benibotarus spinicoxis* (Kiesenwetter) ミスジヒシベニボタル V.10-24(FIT-1), V.24-VI.7(FIT-1)  
(ホタル科)
206. *Cyphonocerus ruficollis* Kiesenwetter ムネクリイロボタル※ V.10(1)  
(ジョウカイボン科)
207. *Asiopodabrus hayato* (Nakane) ハヤトクビボソジョウカイ※ III.29(1), IV.12(3) 共に今坂氏同定
208. *Lycocerus suturellus luteipennis* (Kiesenwetter) ニシジョウカイボン IV.26(1)
209. *Prothemus ciusianus* (Kiesenwetter) マルムネジョウカイ※ V.2(1)  
(カツオブシムシ科)
210. *Orphinus japonicus* Arrow ベニモンチビカツオブシムシ VIII.2-5(1-LT)
211. *Thaumaglossa rufocapillata* Redtenbacher カマキリタマゴカツオブシムシ※ V.24(2)
212. *Thaumaglossa hilleri* Reitter クロヒゲブトカツオブシムシ IV.12-26(FIT-1)
213. *Anthrenus verbasci* (Linnaeus) ヒメマルカツオブシムシ V.10(1)  
(ナガシクイムシ科)
214. *Lichenophanes carinipennis* (Lewis) セマダラナガシクイ VII.5-9(3-LT), VII.29-VIII.2(1-LT)
215. *Heterobostrychus hamatipennis* (Lesne) オオナガシクイ VII.5-9(1-LT)  
前種と共に，ナラ枯れで伐採されたコナラが置かれているところに設置したトラップに飛来した。  
(シバンムシ科)
216. *Indanobium kyushuense* (Nakane) ツツガタホソシバンムシ※ VII.5(5), VII.5(12-FIT)  
宗像市城山産をホロタイプとした種。クロキの立ち枯れに多数見られた。
217. *Gastrallus immarginatus* (Müller) フルホンシバンムシ V.29(1), VI.19-VII.5(FIT-12), VII.5(5)
218. *Holcobius japonicus* (Pic) セスジタワラシバンムシ VI.3(1)
219. *Stagetodes zozu* Sakai ゴウズニセスジキノコシバンムシ VIII.2-5(1-LT), IX.2-5(1-LT), IX.5-9(1-LT)  
本種の和名だが，原記載に Zozu-nise-suji-kinoko-shibanmushi とあり，これをそのまま読んでゴウズニセスジキノコシバンムシと呼ばれているようである。本種のホロタイプ産地が Mt. Kotohira (Mt. Zozu) となっていて，これにちなむものと思われる。しかし，琴平山，別名は象頭山（ぞうずさん）なので，「ゾズ」でなく「ゴウズ」と読むのが自然ではなからうかと考える。
220. *Mizodorcatoma pulcherrima* Sakai フタイロミゾキノコシバンムシ VII.19-VIII.2(FIT-1)  
稀な種と思われ，福岡県初記録。
221. *Byrrhodes nipponicus* Sakai クリイロタマキノコシバンムシ※ V.10-24(FIT-1)  
(コクヌスト科)
222. *Ancyrona haroldi* Reitter ハロルドヒメコクヌスト III.29-IV.12(FIT-1)  
(サビカッコウムシ科)
223. *Isoclerus disinlei* Kolibac タイワンチビカッコウムシ III.29-IV.12(FIT-1)  
カワラタケに見られる種で，平地から山地で見られるが多くはない。  
(カッコウムシ科)
224. *Tillus igarashii* Kôno イガラシカッコウムシ V.24(1), V.29(1) 多い。
225. *Tenerus hilleri* Harold ツマグロツツカッコウムシ VII.2-5(1-LT), VII.5-9(2-LT), VII.29-VIII.2(1-LT)  
(ジョウカイモドキ科)
226. *Semijulistus spectabilis* (Lewis) コケシジョウカイモドキ IV.26-V.10(FIT-1)
227. *Intybia histrio* (Kiesenwetter) ヒロオビジョウカイモドキ※ VI.7(1)
228. *Malachius prolongatus* Motschulsky ツマキアオジョウカイモドキ IV.17(1)
229. *Kuatunia oblongulus oblongulus* (Kiesenwetter) クギヌキヒメジョウカイモドキ※ III.29(1)
230. *Attalus elongatulus* Lewis ホソヒメジョウカイモドキ IV.17(1)

(キシイモドキ科)

231. *Byturus atricollis* Reitter ズグロキシイモドキ III.29  
(1)

(オオキシイムシ科)

232. *Helota gemmata* Gorham ヨツボシオオキシイ  
IV.12(1) タブの樹液に多い。

(ヒメキノコムシ科)

233. *Aspidiphorus sakaii* Sasaji サカイマルヒメキノコム  
シ V.24-VI.7(FIT-1)

(ムクゲキシイムシ科)

234. *Biphyllus lewisi* (Reitter) アカグロムクゲキシイ※  
VI.11(1)

235. *Biphyllus aequalis* (Reitter) ムナビロムクゲキシイ  
IV.26-V.10(FIT-2)

236. *Biphyllus humeralis* (Reitter) カタモンムクゲキシイ  
IV.26-V.10(FIT-1)

237. *Biphyllus throscooides* (Wollaston) クリイロムクゲキ  
スイ V.10-24(FIT-1)

(オオキノコムシ科)

238. *Cathartocryptus hiranoi* (Sasaji) ヒラタコメツキモド  
キ III.29-IV.12(FIT-1), VI.3-7(1-LT), VII.29-  
VIII.2(15-LT), VIII.2-5(13-LT), VIII.5-9(4-LT),  
IX.2-5(2-LT), IX.5-9(3-LT)

一般に珍しい種とされるが、当地ではトラップに  
多数飛来した。ナラ枯れのコナラが伐採されている  
ところに多いようである。

239. *Cryptophilus propinquus* Reitter ヒメムクゲオオキノ  
コムシ VII.29-VIII.2(4-LT), VIII.2-5(1-LT)

240. *Cryptophilus hiranoi* Sasaji アカスジナガムクゲキシ  
イ※ III.15-29(FIT-2), III.29-IV.12(FIT-1)

241. *Microlanguria jansoni jansoni* (Crotch) ケシコメツキ  
モドキ V.2(1)

242. *Anadastus ruficeps* (Crotch) アカアシヒメコメツキ  
モドキ V.2(1), IX.5(1)

243. *Aulacochilus sibiricus bedeli* Harold ルリオオキノコ  
ムシ※ V.16(1)

244. *Aulacochilus japonicus* Crotch カタモンオオキノコム  
シ VI.11(1)

245. *Satelia scitula* Lewis ツヤヒメオオキノコムシ※  
III.29-IV.12(FIT-1)

246. *Triplax japonica japonica* Crotch ホソチビオオキノ

コムシ V.10-24(FIT-2)

247. *Triplax sibirica connectens* (Lewis) シベリアチビオ  
オキノコムシ V.10-24(FIT-1) V.10-24(FIT-1)

248. *Pseudotritoma laetabilis* (Lewis) セグロチビオオキ  
ノコムシ※ III.29-IV.12(FIT-1)

249. *Tritoma tripartaria* (Lewis) カタバニチビオオキノ  
コムシ※ IV.26-V.10(FIT-1), V.10-24(FIT-1), VII.  
19-VIII.2(FIT-1)

250. *Dacne picta* Crotch セモンホソオオキノコムシ III.  
29-IV.12(FIT-1), V.24-VI.7(FIT-1), VII.5(3)

251. *Dacne kidoi* Nakane カクモンホソオオキノコムシ※  
III.29-IV.12(FIT-35), IV.12-26(FIT-22), IV.26-V.10  
(FIT-30), V.10-24(FIT-2), V.24-VI.7(FIT-1), V.24-  
VI.7(FIT-7), VI.19-VII.5(FIT-6), VII.5-19(FIT-2),  
VII.19-VIII.2(FIT-1)

クロキが立ち枯れした傍に設置したFITに多数入っ  
ていた。当地にはクロキが多くその枯れ木に多い種  
だが、ピーティングでは全く得られなかった。

宗像市城山産をホロタイプとした種。一般に稀な  
種とされるが、福岡県北部ではしばしば得られてい  
る。ただ、このようにまとまって得られることはな  
い。

252. *Episcapha fortunei fortune* Crotch ヒメオビオオキノ  
コムシ V.2(1), VII.5-19(FIT-1), IX.2-5(1-LT)

(キシイムシ科)

253. *Cryptophagus dilutus* Reitter ウスイロキシイ IV.12-  
26(FIT-1)

254. *Atomaria horridula* Reitter ケナガセマルキシイ VI.  
3-7(1-LT)

255. *Atomaria punctatissima* Reitter ナガマルキシイ IX.  
2-5(2-LT)

256. *Atomaria lewisi* Reitter キイロセマルキシイ※ IX.  
2-5(1-LT)

257. *Curelius japonicus* (Reitter) マルガタキシイ VII.  
5-9(4-LT), VIII.5-9(1-LT)

(ホソヒラタムシ科)

258. *Protosilvanus lateritius* (Reitter) ヒラムネホソヒラタ  
ムシ VII.29-VIII.2(1-LT) 細長い前胸と上翅第7  
間室が陵状に盛り上がる特徴的な種。福岡県初記録。

259. *Silvanoprus scuticollis* (Walker) ミツカドホソヒラタ  
ムシ VII.2-5(1-LT), VII.5-9(1-LT), VIII.2-5(1-LT),

- IX.2-5(2-LT)
260. *Silvanoprus grouvellei* (Reitter) ホソミツカドホソヒ  
ラタムシ VIII.2-5(1-LT)  
(チビヒラタムシ科)
261. *Microbrontes laemphloeoides* Reitter カギヒゲチビ  
ヒラタムシ V.24-VI.7(FIT-1) 稀な種で、県内から  
行橋市泉, 高良山, 八女市泉の記録がある。
262. *Nipponophloeus dorcooides* (Reitter) オオキバチビヒ  
ラタムシ VII.2-5(1-LT)
263. *Notolaemus cribratus* (Reitter) モンチビヒラタムシ  
IV.12-26(FIT-1)
264. *Notolaemus lewisi* (Reitter) ルイスチビヒラタムシ  
IV.12-26(FIT-1)
265. *Notolaemus ussuriensis* Iablokoff-Khnzorian ウスリー  
チビヒラタムシ VII.5-19(FIT-1), VII.29-VIII.2  
(1-LT), IX.2-5(1-LT)  
稀な種で、県内から宗像市城山, 大根地山, 高良  
山, 八女市吉田の記録がある。
266. *Placonotus fenestratus* (Reitter) キイロチビヒラタム  
シ※ VII.2-5(1-LT), IX.5-9(1-LT)
267. *Placonotus hilleri* (Reitter) ヒレルチビヒラタムシ  
IX.2-5(1-LT) 特徴的な種だが、稀な種である。県  
内から行橋市泉, 大根地山の記録がある。
268. *Placonotus testaceus* (Fabricius) カドムネチビヒラタ  
ムシ VII.2-5(2-LT), VII.5-9(1-LT), VIII.2-5(3-LT),  
VIII.5-9(2-LT)
269. *Xylolestes laevior* (Reitter) セマルチビヒラタムシ  
VII.29-VIII.2(4-LT), VIII.2-5(1-LT)
270. *Pseudophloeus fuscicornis* (Reitter) ウスグロチビヒ  
ラタムシ VII.29-VIII.2(2-LT) 稀な種で、県内か  
ら田川市白鳥町, 笠置山の記録がある。  
当地のチビヒラタムシ科は10種で、このようにま  
とまって多くの種が得られることは大変珍しいこと  
である。比較的新しい枯れ木に生息するため、ナラ  
枯れをはじめ、各種の立ち枯れ木が多いことによる  
ものかもしれない。  
(ケシキスイ科)
271. *Carpophilus chalybeus* Murray クロハナケシキスイ  
V.2(1), VII.22(1)
272. *Eपुरaea concolor* (Murray) ツヤチビヒラタケシキ  
スイ IV.17(2)
273. *Eपुरaea paulula* (Reitter) マメヒラタケシキスイ※  
X.25(1)
274. *Eपुरaea foveicollis* Reitter ムナクボヒラタケシキス  
イ V.10(1) V.10(1) V.10(1)
275. *Stelidota multiguttata* Reitter マルキマダラケシキス  
イ※ IX.24(1-落葉中)  
落葉中に生息する種で、当地でも落葉中に多数見  
られた。
276. *Soronia grisea* Linnaeus キマダラケシキスイ V.16  
(1)
277. *Ussuriphia hilleri* (Reitter) アミモンヒラタケシキス  
イ V.2(1)
278. *Pocadites japonus* (Reitter) マルガタカケシキスイ  
※ V.2(1)
279. *Aethina aeneipennis* Reitter ドウイロムクゲケシキス  
イ V.16(1)
280. *Amphicrossus lewisi* Reitter ナガコゲチャケシキスイ  
VIII.2-5(4-BT), VIII.5-9(2-BT)
281. *Meligethes violaceus* Reitter キベリチビケシキスイ  
IV.17(1), V.2(1)
282. *Glischrochilus japonicus* (Motschulsky) ヨツボシケ  
シキスイ V.16(1)  
タブヤシラカシなどの樹液に多く、バナナトラッ  
プにも多数集まっていた。  
(ムキヒゲホソカタムシ科)
283. *Sosylus crassus* Aoki & Narukawa ヒュウガツツホソ  
カタムシ VII.29-VIII.2(2-LT)  
城戸 (2024)。福岡県初記録として、データを再録  
した。2013年に宮崎県, 対馬, 奄美大島から新種記  
載された種である。  
(カクホソカタムシ科)
284. *Cautomus hystriculus* Sharp ムネビロカクホソカタム  
シ IV.26-V.10(FIT-1)  
(テントウダマシ科)
285. *Saula japonica* Gorham キイロテントウダマシ VII.  
22(1)
286. *Ancylopus pictus asiaticus* Strohecker ヨツボシテント  
ウダマシ III.15(1)
287. *Endomychus gorhami* (Lewis) ルリテントウダマシ  
V.2(1)

(テントウムシ科)

288. *Serangium japonicum* Chapin クロツヤテントウ IV.17(1)
289. *Pseudoscymnus hareja* (Weise) ハレヤヒメテントウ V.24-VI.7(FIT-1)
290. *Nephus yotsumon* (H. Kamiya) ヨツモンヒメテントウ IV.12(1)  
ケヤキの樹皮下で越冬することが知られている。
291. *Scymnus kawamurai* (Ohta) カワムラヒメテントウ V.24(1), VI.17(1), VII.27(1), IX.5(2), IX.9(1)  
全て関氏同定
292. *Scymnus rectoides* Sasaji ニセツマアカヒメテントウ IX.5 関氏同定
293. *Scymnus rectus* (Ohta) オオタツマアカヒメテントウ ※ III.29(1), IX.5(1)
294. *Scymnus posticalis* Sicard コクロヒメテントウ ※ III.29(1) 関氏同定, IV.12(1)
295. *Scymnus hoffmanni* Weise クロヘリヒメテントウ VI.17(1) 関氏同定
296. *Scymnus otohime* H. Kamiya オトヒメテントウ IV.17(1) 関氏同定
297. *Hyperaspis sinensis* (Crotch) フタホシテントウ VII.29(1)
298. *Amida tricolor* (Harold) アミダテントウ ※ IV.26(1) 暖地性の種で, 多い。
299. *Cryptogonus orbiculus* (Gyllenhal) フタモンクロテントウ ※ IV.17(1)
300. *Phymatosternus lewisii* (Crotch) ヨツボシテントウ V.16(1)
301. *Phymatosternus maculosus* (Weise) モンクチビルテントウ IV.12(1), IX.5(1) 多い。台湾や中国などに分布していた種で, 2002年に沖縄で発見され, 徐々に北上, 2009年には福岡市でも発見され, 現在では県内に普通に分布している。
302. *Chilocorus kuwanae* Silvestri ヒメアカホシテントウ VII.5(1)
303. *Phaenochilus Mikado* (Lewis) ミカドテントウ IV.26(1) 成虫が冬期にイチイガシの葉裏で越冬することが知られている。当地では少ないながら4月から8月初旬まで, イチイガシに成虫が見られた。
304. *Rodolia cardinalis* (Mulsant) ベダリアテントウ V.16(1), VI.11(1) 平地や離島, 沿岸部などの暖地で見られる種である。
305. *Coccinella septempunctata* Linnaeus ナナホシテントウ IV.26(1)
306. *Oenopia scalaris* (Timberlake) ムツキボシテントウ IV.17(1), V.24-VI.7(FIT-1) クロマツから得られる種である。
307. *Propylea japonica* (Thunberg) ヒメカメノコテントウ III.29(1)
308. *Calvia quatuordecimguttata* (Linnaeus) シロジュウシホシテントウ IV.26(1)
309. *Calvia muiri* Timberlake ムーアシロホシテントウ IV.17(1)
310. *Harmonia axyridis* (Pallas) ナミテントウ IV.12(1)
311. *Synona consanguinea* Poorani, Ślipiński & Booth ムネアカオオクロテントウ IV.17(1), V.10(1), VII.9(1), VII.22(1), IX.2(2), IX.5(2), IX.5(1), X.25(5)  
城戸 (2024)。福岡県初記録として。データの一部を再録した。タブ, ホソバタブ, ネズミモチなど, いろいろな樹木の葉上から採集される。クズに多いマルカメムシを食害することが知られている。中国・台湾などからの侵入種(外来種)とされ, 先に侵入した関東や関西地域では分布が拡大している。
312. *Menochilus sexmaculata* (Fabricius) ダンダラテントウ IV.12(1)
313. *Kiuro koebelei koebelei* (Timberlake) キイロテントウ IV.17(1)
314. *Henosepilachna vigintioctopunctata* (Fabricius) ニジュウヤホシテントウ IX.2(1) どこにでもいる極めて普通な種だが, 当地ではなかなか採れず, この日にやっと見つけたイヌホオズキから1頭を採集した。
315. *Afissa chinensis* (Weise) ツシママダラテントウ V.16(4), VI.19(1) 日本では対馬に分布していたが, 後に壱岐からも知られていた。それ以外の地では, 2015年に宗像市で多数発見され, その後, 北九州市や平尾台で発見されている。当地での個体数は多く, 至る所でよく見られる。食草はヘクソカズラが知られている。

(ミジンムシ科)

316. *Parmulus politus* (Matthews) ベニモンツヤミジンムシ III.29-IV.12(FIT-3), VII.2-5(1-LT)

(ヒメマキムシ科)

317. *Melanophthalma japonica* Johnson ヤマトケシマキムシ VIII.2-5(2-LT)

(ツツキノコムシ科)

318. *Nipponocis longisetosus* Nobuchi ケナガナガツツキノコムシ※ VI.11(1)

(コキノコムシ科)

319. *Litargus lewisi* Reitter ウスモンヒメコキノコムシ VII.2-5(3-LT)

(キノコムシダマシ科)

320. *Holostrophus orientalis* Lewis アヤモンヒメナガクチキムシ※ V.2(1)

(ナガクチキムシ科)

321. *Phloiотrya obscura* (Lewis) ビロウドホソナガクチキ IV.17(1), IV.12-26(FIT-1)322. *Phloiотrya rugicollis* Marseul クロホソナガクチキ VII.2-5(1-LT)323. *Serropalpus barbatus* Schaller キイロホソナガクチキムシ VIII.2-5(1-LT)324. *Osphyra orientalis* (Lewis) アオオビナガクチキ V.16(2)

(ハナノミ科)

325. *Macrotomoxia castanea* Pic クリイロヒゲハナノミ VII.5(1) マテバシイの枯れ枝から得られた。灯火に飛来するものを得ることが多い。社寺林や緑地公園など、シイやカシなどの大木が残っているような低地林で見られる。最近になって、ナラ枯れの山林で多数発生したという記録がある。県内では稀な種で、福岡県 RDB2014では準絶滅危惧種に指定されている。326. *Mordellina brunneotincta* (Marseul) チャオビヒメハナノミ V.24-VI.7(FIT-1), VI.3-7(1-LT)

この科には未同定の小型種が複数ある。

(アトコブゴミムシダマシ科)

327. *Penthelispa vilis* (Sharp) ツヤナガヒラタホソカタムシ V.10-24(FIT-1)328. *Microprius opacus* (Sharp) ツヤケシヒメホソカタムシ※ V.10-24(FIT-1), VI.19-VII.5(FIT-1), VII.5-19(FIT-1), IX.5-9(1-LT)

かなり乾燥した場所でも得られる種で、街中の公園などでも得られている。

329. *Pseudotarphius lewisii* Wollaston ダルマチビホソカタムシ V.2(1)330. *Glyphocryptus brevicollis* Sharp ヒサゴホソカタムシ III.29-IV.12(FIT-1)

(ゴミムシダマシ科)

331. *Luprops orientalis* (Motschulsky) ヒゲブトハムシダマシ V.2(1)332. *Macrolagria rufobrunnea* (Marseul) ナガハムシダマシ IV.12(1)333. *Uloma bonzica* Marseul モトヨツコブゴミムシダマシ IX.24(1)334. *Uloma marseuli marseuli* Nakane エグリゴミムシダマシ※ IX.24(1- 落葉中)335. *Nalassus brunnea brunnea* (Marseul) コマルムネゴミムシダマシ III.15(1)336. *Plesiophthalmus nigrocyanus* Motschulsky キマワリ※ V.29(1), VI.7(1)337. *Blindus strigosus* (Faldernann) ゴモクムシダマシ V.24(1-U 字溝), VI.3(1-U 字溝)

以下、スジコガシラゴミムシダマシまで地表を徘徊する種で、いずれの種も U 字溝には多数見られた。

338. *Gonocephalum coenosum* Kaszab ヤマトスナゴミムシダマシ V.2(1), V.24(1-U 字溝)339. *Gonocephalum coriaceum* Motschulsky コスナゴミムシダマシ VII.5(1-U 字溝)340. *Heterotarsus carinula* Marseul スジコガシラゴミムシダマシ III.15(1)

ユーカリの樹皮がはがれ、木の俣にたくさん重なり、その中に多数の個体が見られた。成虫越冬していたものと思われる。

341. *Allecula tenuis* Marseul ホンドホソアカクチキムシ※ VI.7(1)342. *Allecula bilamellata* Marseul ウスイロクチキムシ VII.5-9(1-LT)343. *Borboresthes acicularis* (Marseul) クリイロクチキムシ V.10(1), V.16(2)344. *Hymenalia rufipennis* (Marseul) アカツヤバネクチキムシ※ IV.17(1)345. *Isomira oculata* (Marseul) フナガタクチキムシ※ V.24(1), VI.11(1)346. *Cteniopinus hypocrita* (Marseul) キイロクチキムシ※

- V.24(1)
347. *Diaperis lewisi lewisi* Bates モンキゴミムシダマシ VII.5(2)
348. *Platydema kurama* Nakane マルツヤキノコゴミムシダマシ VII.5(1)
349. *Platydema marseuli* Lewis アオツヤキノコゴミムシダマシ V.2(1), V.10(1)
350. *Platydema nigroaeneum* Motschulsky クロツヤキノコゴミムシダマシ VII.5(1)
351. *Platydema higonium* Lewis ヒゴキノコゴミムシダマシ※ VI.7(2)
352. *Platydema subfascia subfascia* (Walker) ベニモンキノコゴミムシダマシ※ VI.19(2), VII.5(1)
353. *Platydema nigropicta* Nakane ヒメオビキノコゴミムシダマシ IX.5-9(1-LT)  
稀な種で、県内では宗像市城山と久留米市宮本からの記録がある。
354. *Ceropria laticollis* Fairmaire フトナガニジゴミムシダマシ VII.22(1)  
低山の森林中でよく見られる種だが、わずか1頭を得ただけ。
355. *Ceropria induta induta* (Wiedemann) ナガニジゴミムシダマシ IV.12-26(FIT-1)
356. *Ades convexus* (Lewis) クロテントウゴミムシダマシ V.10-24(FIT-1) 落葉中に生息する種である。
357. *Promethis valgipes valgipes* (Marseul) ユミアシゴミムシダマシ V.24(1-U字溝), VI.11(1)
358. *Derosphaerus subviolaceus* (Motschulsky) ルリゴミムシダマシ VIII.5-9(1-LT)
359. *Tetraphyllus paykullii* (Dalman) ニジゴミムシダマシ VII.9(1) 伐採されたアカマツと思われる古い朽木の樹皮下に見られた。
360. *Gnesis haagi* (Harold) ズビロキマワリモドキ IV.26(1), IX.5(1-落葉中)
361. *Simalura coerulea* (Lewis) ルリツヤヒメキマワリモドキ V.29(1)
362. *Strongylium marseuli* Lewis ハネナシセスジナガキマワリ VII.22(1)  
(カミキリモドキ科)
364. *Nacerdes luteipennis* (Marseul) キバネカミキリモドキ V.24(1) クリの花
365. *Dryopomera yatoi yatoi* (Nakane) ホソカミキリモドキ※ IV.17(1)
366. *Oedemera sexualis sexualis* Marseul フタイロカミキリモドキ IV.17(2)  
(ツチハンミョウ科)
367. *Meloe coarctatus* Motschulsky ヒメツチハンミョウ V.24(1-U字溝) ほぼ完全な死体。  
(チビキカワムシ科)
368. *Trogocryptoides shintaroi* Sasaji カクチビキカワムシ V.24-VI.7(FIT-1) 宗像市城山産をホロタイプとした種。頭胸部を欠いていたが、完全な標本と比較して本種と同定した。
369. *Chilopeltis laevipennis* (Marseul) ツヤチビキカワムシ VI.7(1)
370. *Lissodema morimotoi* Sasaji モリモトチビキカワムシ VI.3-7(1-LT), VIII.2-5(1-LT)
371. *Lissodema myrmido* Marseul ドウチビキカワムシ※ III.29(1)  
(アリモドキ科)
372. *Macratris serialis* Marseul アカクビボソムシ VI.11(1), VII.5-9(1-LT)
373. *Anthicomorphus cruralis* Lewis モモキアリモドキ※ V.10-24(FIT-1), IX.5-9(1-LT)
374. *Anthicomorphus niponicus niponicus* Lewis クロチビアリモドキ※ III.29-IV.12(FIT-1), IX.5-9(1-LT) 当地のものは背面色彩が薄い褐色で、前種とよく似ているものが多い。前種に比べ眼が大きい。前種はこの属としては眼が小さい。
375. *Anthelephila bramina coiffaiti* (Bonadona) ホソクビアリモドキ III.29(1), IX.5(1)
376. *Stricticollis valgipes* (Marseul) ヨツボシホソアリモドキ V.2(1), VI.11(1), IX.5(1)
377. *Omonadus confucii confucii* (Marseul) ウスモンホソアリモドキ VI.3-7(1-LT) VI.3-7(1-LT)
378. *Sapintus marseuli* (Pic) アカモンホソアリモドキ VII.2-5(1-LT), VII.5-9(1-LT), IX.2-5(1-LT)  
(ニセクビボソムシ)
379. *Phytobaenus amabilis scapularis* (Marseul) マダラニセクビボソムシ IX.5-9(1-LT)  
(ハナノミダマシ科)
380. *Anapsis marseuli* Csiki クロフナガタハナノミ IV.

- 12(1)  
(カミキリムシ科)
381. *Aegosoma sinicum sinicum* (White) ウスバカミキリ VIII.5(2-U字溝) ばらばらの状態で頭部や前胸部を欠いていたが、上翅などは残っていたので本種と同定した。
382. *Prionus sejunctus* Hayashi ニセノコギリカミキリ VII.5-9(1-LT)
383. *Lemula decipiens* Bates キバネニセハムシハナカミキリ※ IV.12(1)
384. *Pidonia aegrota aegrota* (Bates) チャイロヒメハナカミキリ IV.17(1)
385. *Leptura modicenotata* (Pic) ツマグロハナカミキリ V.2(1)
386. *Aeolesthes chrysothrix chrysothrix* (Bates) キマダラカミキリ V.10(1), VI.3(1), VII.29-VIII.2(1-LT)  
5月のものはホソバタブの樹液, 6月のものはネズミモチの花から得られた。
387. *Margites fulvidus* (Pascoe) キイロミヤマカミキリ VI.3(1), VII.2-5(1-LT) クリの花から得られた。かつては平地や低山のクリの花によく見られていた種だが、1990年代を最後に全く見ることができなくなった。2006年に大島で採集されて以来、県内から記録がなかった種。
388. *Allotraeus sphaerioninus* Bates トビイロカミキリ V.10(1) クリの花。
389. *Nysina rufescens* (Pic) トゲヒゲトビイロカミキリ V.29(2) クリの花。
390. *Stenodryas clavigera clavigera* Bates アメイロカミキリ VI.7(1) ミズキの花。
391. *Ceresium sinicum* A. White テツイロヒメカミキリ IV.26(1), IV.12(1) クリの枯れ枝などに多い。
392. *Ceresium longicorne* Pic ヒゲナガヒメカミキリ VI.11(1), VI.19(1) マテバシイの枯れ枝に見られた。
393. *Stenhomalus cleroides* Bates カッコウメダカカミキリ V.2(1)
394. *Xylotrechus rufilius rufilus* Bates クビアカトラカミキリ VI.19(1)
395. *Xylotrechus lautus lautus* Matsushita ズマルトラカミキリ III.29(1), IV.12(3) 一般には少ない種。
396. *Perissus kiusiuensis kiusiuensis* K. Ohbayashi キュウシュウチビトラカミキリ VI.19(5), VII.5(1)
397. *Clytus melaenus* Bates シラケトラカミキリ IV.17(1), V.10(1)  
伐採されたコナラの小枝から得られた。稀な種で、低山からの記録が多いが、2000年以降は四王寺山と筑前町砥上岳から知られるのみ。
398. *Chlorophorus quinquefasciatus* (Laporte & Gory) ヨツスジトラカミキリ※ VII.5(1) タラの花。
399. *Rhaphuma diminuta diminuta* (Bates) ヒメクロトラカミキリ※ V.16(1)
400. *Grammographus notabilis notabilis* (Pascoe) キイロトラカミキリ V.10(1)
401. *Demonax transilis* Bates トゲヒゲトラカミキリ IV.17(1), V.10-24(FIT-1)
402. *Purpuricenus temminckii* (Guérin-Méneville) ベニカミキリ V.10(1)
403. *Dere thoracica* White ホタルカミキリ V.10(1)
404. *Kurarua rhopalophoroides* Hayashi クビアカモモブトホソカミキリ V.29(1), IV.26-V.10(FIT-1) 雌による単為生殖をすることで知られる。平地性の稀な種で、福岡県 RDB2014では準絶滅危惧種に指定されている。
405. *Mesosa japonica* Bates ゴマフカミキリ V.2(2)
406. *Mesosa perplexa* Pascoe チャゴマフカミキリ VII.22(1) 産地は局所的で、福岡市舞鶴公内は有名な産地の一つである。兵庫県、福岡県、長崎県など港湾都市部、またはその周辺地域からの記録が多く、中国や台湾からの移入種と考えられている。
407. *Mesosa longipennis* Bates ナガゴマフカミキリ V.29(1)
408. *Mesosa hirsuta hirsuta* Bates カタジロゴマフカミキリ VI.19(1), VII.25(1), VII.25(1)
409. *Atimura japonica* Bates コブスジサビカミキリ IV.17(1)
410. *Asaperda rufipes* Bates キクスイモドキカミキリ IV.17(1)
411. *Aulaconotus pachypezoides* Thomson タテジマカミキリ V.2(1) ハリギリから得られた。
412. *Pterolophia caudata caudata* (Bates) トガリシロオビサビカミキリ V.29(1)
413. *Pterolophia annulata* (Chevrolat) ワモンサビカミキリ

- り IV.12(1), IV.17(1)
414. *Pterolophia jugosa jugosa* (Bates) ナカジロサビカミキリ V.2(1)
415. *Egesina bifasciana bifasciana* (Matsushita) ニイジマチビカミキリ VI.7(1) クリの枯れ木.
416. *Eupromus ruber* (Dalman) ホシベニカミキリ V.16(1) タブに多い.
417. *Acalolepta sejuncta sejuncta* Bates ニセビロウドカミキリ※ V.29(1)
418. *Batocera lineolata* Chevrolat シロスジカミキリ VI.7(1) ウバメガシに見られた.
419. *Apriona japonica* Thomson クワカミキリ VIII.2-5(1-LT)
420. *Anoplophora malasiaca* (Thomson) ゴマダラカミキリ VII.9(1) ムクロジの葉に静止していた.
421. *Monochamus subfasciatus subfasciatus* (Bates) ヒメヒゲナガカミキリ V.29(1)
422. *Rhodopina lewisii lewisii* (Bates) セミスジコブヒゲカミキリ V.16(1)
423. *Rhopaloscelis unifasciatus* Blessig ヒトオビアラゲカミキリ※ IV.17(1)
424. *Arhopaloscelis nipponensis* (Pic) フタオビアラゲカミキリ※ VI.3(1)
425. *Sciades tonsus* (Bates) ケシカミキリ V.24(2), V.29(3), VI.3(4) クリの枯れ枝に多い.
426. *Exocentrus galloisi* Matsushita ガロアケシカミキリ V.29(1)
427. *Exocentrus lineatus* Bates アトモンマルケシカミキリ V.24(1)
428. *Exocentrus fasciolatus* Bates クモガタケシカミキリ VII.29(2)
429. *Eutetrappa ocelota* (Bates) ヤツメカミキリ V.10(1) ソメイヨシノに見られた.
430. *Paraglenea fortunei* (Saunders) ラミーカミキリ VI.3(1) この1頭を見かけただけ.  
(ハムシ科)
431. *Lilicercis rugata* (Baly) キイロクビナガハムシ V.29(1) ヤマイモに見られた.
432. *Lilicercis merdigera* (Linnaeus) ユリクビナガハムシ V.10(2), V.16(1), V.24(2)  
池の傍にあった大形のユリ(オニユリの仲間)に多数見られた. 花を確認したが、成長するたびに草刈りの巻き添えになり、とうとう花を確認できなかった. 植栽された大形のユリ類に見られ、普通、山野で見るとは少ない.
433. *Lilicercis subpolita* (Motschulsky) アカクビナガハムシ V.16(1) サルトリイバラに見られる.
434. *Lema diversa* Baly アカクビボソハムシ V.2(1), V.10(1), IX.5(1) ツククサ.
435. *Lema honorata* Baly ヤマイモハムシ V.2(1)
436. *Oulema atrosuturalis* (Pic) セスジクビボソハムシ VI.11(1) あまり多くない種である.
437. *Cryptocephalus approximatus* Baly バラルリツツハムシ IV.17(1), VI.7(1)
438. *Cryptocephalus luridipennis pallescens* Kraatz クロボシツツハムシ IV.12(1)
439. *Cryptocephalus nobilis* Kraatz ヨツモンクロツツハムシ V.24(1) クリの花.
440. *Cryptocephalus perelegans perelegans* Baly キボシツツハムシ V.24(2) アキニレ.
441. *Chlamisus spilotus* (Baly) ムシクソハムシ※ IV.12(1)
442. *Chlamisus diminutus* (Gressitt) ヒメコブハムシ IV.26(1)
443. *Chlamisus interjectus* (Baly) ミズキコブハムシ VI.11(1), IX.5(1) ミズキの葉を加害する.
444. *Oomorphoides nigrocaeruleus* (Baly) アオグロツヤハムシ※ III.15(1) キヅタ.
445. *Oomorphoides cupreatus* (Baly) ドウガネツヤハムシ IV.12(1) タラノキに普通.
446. *Cleoporus lateralis* (Motschulsky) サクラサルハムシ VI.3(2), VI.11(5)  
普通種の割にあまり見ない種だが、事務棟近くのソメイヨシノに大発生していた.
447. *Nodina chalcosoma* Baly アオガネヒメサルハムシ V.29(1) クリの花.
448. *Basilepta fulvipes* (Motschulsky) アオバネサルハムシ V.24(1), V.29(1)
449. *Pagria flavopustulata* (Baly) ツヤキバネサルハムシ V.29(2)
450. *Pagria ussuriensis* Moseyko et Medvedev マルキバネサルハムシ IV.17(1), VI.3(1) クズ.

451. *Heteraspis lewisii* (Baly) ドウガネサルハムシ IV.17(1)
452. *Demotina fasciata* (Baly) クロオビカサハラハムシ ※ III.29(1)
453. *Demotina fasciculata* Baly マダラアラゲサルハムシ ※ III.15(1), III.29(1)
454. *Demotina modesta* Baly カサハラハムシ IV.17(1), IV.26(4), V.16(1)
455. *Demotina bipunctata* Jacoby フタモンアラゲサルハムシ ※ III.29(1), IV.12(1), VIII.5-9(4-LT)
456. *Acrothinium gaschkevitchii gaschkevitchii* (Motschulsky) アカガネサルハムシ IV.17(1) 植栽されたブドウに多数見られた。
457. *Lypesthes ater* (Motschulsky) リンゴコフキハムシ V.24(1)
458. *Lypesthes lewisi* (Baly) ケブカサルハムシ IV.12(1)
459. *Fidia japonica* (Ohno) ニホンケブカサルハムシ IV.17(1) 稀な種である。
460. *Gastrophysa atrocyanea* Motschulsky コガタルリハムシ V.10(1)
461. *Chrysolina aurichalcea* (Mannerheim) ヨモギハムシ V.2(1) U字溝でもよく見られた。
462. *Chrysolina exanthematica exanthematica* (Wiedemann) ハッカハムシ VII.22(1), VIII.21(1-U字溝) あまり見ない種で、食草のハッカ類は園芸種も含めて見かけなかった。
463. *Gonioctena rubripennis* Baly フジハムシ IV.26(1)
464. *Gonioctena nigroplagiata* Baly ヤツボシハムシ IV.17(6) エノキに多く、かなり加害されているを見た。かつて九州本土からの分布は知られてなかったが、2015年頃から福岡県北部で発見されるようになった。本州からの移入の可能性が高い。
465. *Galerucella grisescens* (Joannis) イチゴハムシ IV.12(1), V.10(1)
466. *Pyrrhalta tibialis* (Baly) エノキハムシ VI.11(2) エノキに多数見られた。
467. *Tricholochmaea semifulva* (Jacoby) アカタデハムシ V.10(1)
468. *Pyrrhalta humeralis* (Chen) サンゴジュハムシ V.29(1)
469. *Xanthogaleruca maculicollis* (Motschulsky) ニレハムシ IV.12(1), V.10(1), VI.19(1)
470. *Ophraella communis* LeSage ブタクサハムシ VI.7(2) 日本には1990年代にアメリカから侵入。事務棟南の繁茂するブタクサに非常に多く見られた。
471. *Aulacophora indica* (Gmelin) ウリハムシ IV.26(1)
472. *Aulacophora nigripennis* Motschulsky クロウリハムシ ※ III.29(1)
473. *Fleutiauxia armata* (Baly) クワハムシ IV.12(1)
474. *Paridea oculata* Laboissière ヨツボシハムシ IV.12(1), VIII.9(1-U字溝), VIII.21(3) カラスウリなどが食草としてあげられているが、筆者自身はつきり確認できずにいた。今回、8月21日にはスズメウリに多数発生し、葉をぼろぼろに食害しているのを観察した。
475. *Paridea angulicollis* (Motschulsky) アトボシハムシ IV.17(1), V.24(1), VII.22(1)
476. *Morphosphaera japonica* (Hornstedt) イチモンジハムシ IV.12(1)
477. *Hesperomorpha hirsuta* (Jacoby) ケブカクロナガハムシ IV.17(1)
478. *Luperus moorii* Baly クロウスバハムシ IV.12(1)
479. *Medythia nigrobilineata* (Motschulsky) フタスジヒメハムシ III.29(1), V.29(1), IX.2(1)
480. *Taphinellina flaviventris* (Motschulsky) キバラヒメハムシ ※ V.2(2)
481. *Taphinellina chujoi* (Nakane) ニセキバラヒメハムシ V.16(1)
482. *Atrachya menetriesi* (Faldermann) ウリハムシモドキ VIII.9(1-U字溝)
483. *Gallerucida bifasciata* Motschulsky イタドリハムシ VI.11(2) U字溝にもよく見られた。
484. *Altica caerulea* (Baly) ヒメカミナリハムシ IV.17(1), VIII.21(2-U字溝)
485. *Trachytetra lewisi* (Jacoby) アラハダトビハムシ V.2(1)
486. *Phygasia fulvipennis* (Baly) チャバネツヤハムシ IV.26(1) キジョラン。
487. *Pseudodera xanthospila* Baly フタホシオオノミハムシ IV.12(1), V.10(1)
488. *Aphthona strigosa* Baly サメハダツブノミハムシ

- III.29(1), VI.11(2) アカメガシワに多い。
489. *Hemipyxis plagioderoides* (Motschulsky) ヒゲナガリマルノミハムシ V.10(1)
490. *Argopistes coccinelliformis* Csiki ヘリグロテントウノミハムシ III.15(1) ヒイラギ, ヒイラギモクセイに多い。
491. *Argopus punctipennis punctipennis* (Motschulsky) アカイロマルノミハムシ※ IV.17(1)
492. *Pseudoliprus hirtus* (Baly) クビボソトビハムシ V.16(1)
493. *Dactylispa subquadrata subquadrata* (Baly) カタビロトゲハムシ V.2(1) コナラに多い。
494. *Dactylispa issikii* Chûjô タケトゲハムシ III.29(1)
495. *Cassida fuscorufa* Motschulsky ヒメジンガサハムシ VII.22(1) ヨモギ。
496. *Lacoptera nepalensis* Boheman ヨツモンカメノコハムシ IV.12(1) 国内での分布は沖縄であったが、徐々に北上、福岡県では2011年に大野城市で発見された。ノアサガオをひどく加害し、現在では県内に広く分布する。
497. *Cassida japana* Baly イノコズチカメノコハムシ V.2(1)
498. *Bruchidius japonicus* (Harold) サムライマメゾウムシ IX.5(1) ヌスビトハギの花にいた。  
(ヒゲナガゾウムシ科)
499. *Ozotomerus japonicus japonicus* Sharp ウスモンツツヒゲナガゾウムシ※ V.16(3)  
コナラの枯れ枝に多くみられ、当地では最も普通に見られるヒゲナガゾウムシである。
500. *Exillis japonicola* Nakane イトヒゲナガゾウムシ VI.3(1), VI.19(1)
501. *Xylinada striatifrons* (Jordan) ナガフトヒゲナガゾウムシ VII.2-5(1-LT), VIII.5-9(1-LT)  
城戸 (2024)。福岡県初記録として、データを再録した。次種と共に、ナラ枯れで伐採されたコナラが置かれているところに設置したトラップに飛来した。九州からは宮崎、大分、長崎の各県からの記録がある。
502. *Dendropemon nagaai* (Morimoto) ツシマオノヒゲナガゾウムシ VII.5-9(1-LT) 極めて稀な種で、宗像市城山・吉留、立花山、清水山の記録がある。自然状態の良い照葉樹林が残る地で得られている。ライ
- トにも飛来する。
503. *Litocerus multiguttatus* (Nakane) コモンマダラヒゲナガゾウムシ IV.26-V.10(FIT-1)
504. *Tropideres roelofsi* (Lewis) クロフヒゲナガゾウムシ ※ V.2(1)
505. *Autotropis distinguendus* (Sharp) スネアカヒゲナガゾウムシ IV.17(1)
506. *Rhaphitropis guttifer guttifer* (Sharp) コモンヒメヒゲナガゾウムシ V.2(1)
507. *Unciferina japonica* Morimoto クロホシチビヒゲナガゾウムシ V.24(1)
508. *Phaulimia confinis* (Sharp) シリジロメナガヒゲナガゾウムシ V.16(1), V.29(3), VI.19(1)
509. *Habrissus unciferoides* (Nakane) ネプトヒゲナガゾウムシ※ IV.26-V.10(FIT-1)  
(オトシブミ科)
510. *Agomadaranus pardalis* (Vollenhoven) ゴマダラオトシブミ V.29(1), VI.3(1) クリに多い。
511. *Paroplapoderus vanvolxemi* (Roelofs) ヒメゴマダラオトシブミ V.24(1) エノキにいるが稀。
512. *Compsapoderus erythrogaster* (Snellen van Vollenhoven) ヒメクロオトシブミ IV.26(1)
513. *Cycnotrachelodus roelofsi* (Harold) エゴツルクビオトシブミ V.10(1) エゴノキに見られる。
514. *Phialodes rufipennis* Roelofs アシナガオトシブミ IV.17(1) アラカシ。
515. *Euops splendidus* Voss カシルリオトシブミ VI.19(1)
516. *Pseudomesauletes uniformis* (Roelofs) クロケシツブチョッキリ VIII.9(1)
517. *Aderorhinus crioceroides* (Roelofs) チャイロチョッキリ IV.17(1) マテバシイ, クリに多い。
518. *Eugnampobius aurifrons* (Roelofs) ホソチョッキリ VI.7(1)
519. *Deporaus unicolor* (Roelofs) コナライクビチョッキリ IV.12(1), V.2(1)
520. *Lasiorhynchites brevirostris* (Roelofs) クチブトチョッキリ IV.17(1), V.2(1)
521. *Cyllorhynchites ursulus ursulus* (Roelofs) ハイイロチョッキリ VI.19(1) コナラ, クリに多い。
522. *Japanorhynchites caeligenus* (Y. Sawada) カゼチョッキリ 10-24.V.10-24(1-FIT)

城戸 (2024). 福岡県初記録として. データを再録した. 本種は宮崎県高千穂の峰から記載され, 極めて稀な種で, その後屋久島愛子岳からも記録されている. いずれも高山の吹き上げで得られていて, 当地の様な平地の照葉樹が多い場所から得られたのには大変驚いた. 当地には宮崎演習林 (椎葉村) から移植された樹木や, 各地から移植された樹木も多く, これらに起因している可能性もある.

(ミツギリゾウムシ科)

523. *Baryrhynchus poweri* Roelofs ミツギリゾウムシ VI.3(1)

(ホソクチゾウムシ科)

524. *Piezotrachelus japonicus* (Roelofs) アザミホソクチゾウムシ IV.26(1) 池の周辺にあったキツネノアザミに多数見られた.

525. *Pseudopiezotrachelus placidus* (Faust) ヒゲナガホソクチゾウムシ V.29(1), X.25(1)

(チビゾウムシ科)

526. *Nanophyes pallipes* Roelofs モンチビゾウムシ VIII.5-9(1-LT)

(ゾウムシ科)

527. *Phyllobius rotundicollis* Roelofs キュウシュウヒゲボソゾウムシ IV.17(1), IV.17(1), IV.17(1)

528. *Nothomylocerus griseus* (Roelofs) カシワクチプトゾウムシ IX.5(1)

529. *Lepidepistomodes fumosus* (Faust) ケブカクチプトゾウムシ IV.17(1)

530. *Phyllolytus variabilis* (Roelofs) オオクチプトゾウムシ VI.19(1)

この日から急に普通に見られるようになった. 発生のはじめらしい.

531. *Lepidepistomodes griseoides* (Zumpt) コカシワクチプトゾウムシ IV.12(3), V.24(1)

532. *Pseudoedophrys hilleri* (Faust) ヒレルクチプトゾウムシ III.15(1)

533. *Myosides seriehispidus* Roelofs チビヒョウタンゾウムシ※ IX.5(1- 落葉中), IX.24(1- 落葉中)

534. *Trachyphloeosoma advena* Zimmerman ホソゲチビツチゾウムシ※ IX.24(1- 落葉中)

535. *Trachyphilus* sp. ツチゾウムシ属の一種※ IX.5(2- 落葉中), IX.24(9- 落葉中) この属の種は落葉中に

生息し, 後翅は退化し非常に狭い範囲で種分化をしていることが知られている. 当地に近い犬鳴山, 立花山, 油山からそれぞれ別種が知られている. また, スギ林などの人工林にも普通に生息し, わずかな落葉や土壌を移動するだけで直ちに種のかく乱に結びつくものと思われる.

536. *Episomus turritus turritus* (Gyllenhal) シロコブゾウムシ IV.17(1) クズ.

537. *Dermatoxenus caesicollis* (Gyllenhal) ヒメシロコブゾウムシ VIII.9(1) タラノキ.

538. *Sympiezomias lewisi lewisi* (Roelofs) ワモンヒョウタンゾウムシ IV.17(1)

この時期だけ, ノアザミから多数得られた. ノアザミの花がなくなつてからは見ない.

539. *Pseudocneorhinus bifasciatus* Roelofs スグリゾウムシ IV.17(1), IX.5(2)

540. *Eugnathus distinctus* Roelofs コフキゾウムシ IV.17(1) クズ.

541. *Sitona japonicus* Roelofs チビコフキゾウムシ IV.26(3), V.2(1)

542. *Listroderes costirostris* Schoenherr ヤサイゾウムシ VI.7(2)

1942年に日本に侵入した外来種で福岡県では1951年に行橋市と築城町に発見された種. ビオトープ近くのブタクサから得られた. 多い.

543. *Hypera postica* (Gyllenhal) アルファルファタコゾウムシ IV.26(1)

日本では1982年6月に福岡空港周辺で初めて確認された外来種. 多い.

544. *Hypera basalis* (Voss) ハコベタコゾウムシ IV.17(1)

545. *Phaeopholus ornatus* Roelofs ミスジマルゾウムシ V.16(2)

546. *Phaeopholus major* Roelofs オオミスジマルゾウムシ IV.17(1)

前種と共にタブやホソバタブに見られるが, この地では本種の方が多くみられる.

547. *Lixus acutipennis* (Roelofs) ハスジカツオゾウムシ VI.11(1), VI.11(1)

548. *Sternuchopsis trifida* (Pascoe) オジロアシナガゾウムシ IV.12(1) クズ.

549. *Merus erro* (Pascoe) ホホジロアシナガゾウムシ  
IV.26(1), VI.11(1) ヌルデ.
550. *Orchestes koltzei* Faust カシワノミゾウムシ V.24  
(1)
551. *Orchestes horii* (Kôno) エノキノミゾウムシ IV.12  
(1), VI.11(1) エノキ.
552. *Orchestes excellens* Roelofs フトノミゾウムシ V.10  
(2)
553. *Orchestes sanguinipes* Roelofs アカアシノミゾウム  
シ V.10(1) ケヤキ.
554. *Orchestes galloisi* Kôno ガロアノミゾウムシ V.24  
(1), V.29(1)
555. *Orsophagus trifasciatus* Roelofs オビデオゾウムシ  
IV.26(1) センダンに多い.
556. *Ochyromera japonica* (Roelofs) モンアシブトゾウム  
シ III.29(3), IV.12(4), V.24(6)VI, I.29(1)  
一般には珍しい種だが、当地ではイヌマキからよ  
く得られた.
557. *Endaeus flavidus* Kojima & Morimoto キイロアシブ  
トゾウムシ※ V.10(1)
558. *Anthonomus bisignifer* Schenkling イチゴハナゾウム  
シ III.29(1) ノイバラに多い.
559. *Archarius roelofsi* (Heller) レロフチビシギゾウムシ  
V.10-24(FIT-1), V.24-VI.7(FIT-1)
560. *Archarius pictus* (Roelofs) ジュウジチビシギゾウム  
シ IV.26(3)
561. *Curculio funebris* (Roelofs) イヌビワシギゾウムシ  
IV.17(1)  
イヌビワにいる普通種だが、当地では少ない.
562. *Curculio dentipes* (Roelofs) コナラシギゾウムシ  
IV.17(2), IV.26(1) コナラに多い.
563. *Curculio hilgendorfi* (Harold) シイシギゾウムシ  
IX.24(3)  
シイ類に見られるが少ない種である. 9月から10  
月に成虫が見られる.
564. *Baris kidoi* Yoshihara チャマダラヒメゾウムシ  
VIII.21(1)  
福岡県新宮町相島から発見された種で、イノコズ  
チから採集した.
565. *Baris ezoana* Kôno エゾヒメゾウムシ V.2(2),  
V.24(2)
- ヨモギにいる普通種だが、当地では少ない.
566. *Manilabaris armipes* (Roelofs) トゲアシヒメゾウム  
シ IV.17(1), V.24(1), V.29(2)  
クリの花によく見られたが、7月に入ってから  
カラスウリに多数見られた.
567. *Rhinoncus jakovlevi* Faust ギシギシクチブトサルゾ  
ウムシ IV.26(1)
568. *Rhinoncus nigrotibialis* Wagner コブナシクチブトサ  
ルゾウムシ V.10(2), IX.2(4), IX.5(1)  
前種と共に、ピオトープ付近のタデ類に多数見ら  
れた.
569. *Trichocoeliodes excavatus* (Huetache) ケナガサルゾ  
ウムシ VI.3(1) クリの花.
570. *Homorosoma asperum* (Roelofs) タデトゲサルゾウ  
ムシ V.10(1), VII.9(1) タデ類.
571. *Metialma signifera* Pascoe ヒラセクモゾウムシ V.2  
(2) ヤブマオに普通に見られる.
572. *Egiona picta* (Roelofs) クロホシタマクモゾウムシ  
III.15-29(FIT-1), IV.12-26(FIT-2)
573. *Acicnemis palliata* Pascoe ウスモンカレキゾウムシ  
IV.17(1)
574. *Acicnemis suturalis* Roelofs ナカスジカレキゾウムシ  
V.2(1)  
前種と共に、枯れたヤマフジのつるに多い.
575. *Kobuzo rectirostris* (Roelofs) アカコブコブゾウムシ  
IV.12(1), VI.19(1), VII.5(3), VII.25(1), VII.25(1),  
VIII.21(3), IX.2(2), IX.5(5)  
一般にはあまり多くない種だが、ウバメガシ、シ  
ラカシ、アラカシからよく得られた.
576. *Pimelocerus perforatus perforates* (Roelofs) オリーブ  
アナアキゾウムシ V.29(1) ネズミモチ
577. *Pimelocerus hylobioides* (Desbrochers) クスアナアキ  
ゾウムシ VII.25-29(1-BT) ホソバタブに設置した  
バナナトラップで得られた.
578. *Rhadinomerus annulipes* (Roelofs) アカナガクチカク  
シゾウムシ IV.26-V.10(FIT-1), VII.5-9(1-LT)
579. *Rhadinomerus subovatus* Morimoto マルミナガクチ  
カクシゾウムシ VII.5-9(1-LT)
580. *Rhadinomerus unmon unmon* Nakane ウンモンナガクチ  
カクシゾウムシ VII.29-VIII.2(1-LT), IX.2-5(1-LT)
581. *Deiradocranus setosus* (Morimoto) チビクチカクシ

ゾウムシ IX.5(1)

582. *Colobodes valbum* Roelofs ハイイロトゲトゲゾウムシ IV.17(2)

枯れたアケビのつるに見られる。

583. *Simulatacalles simulator* (Roelofs) ヒサゴクチカクシゾウムシ※ IV.26(1)

584. *Ectatorhinus adamsii* Pascoe マダラアシゾウムシ※ VII.5(1) アキニレの樹液

585. *Cechania eremita* Pascoe ツツクチカクシゾウムシ IV.26-V.10(FIT-1), V.29(1), IX.5(1)

586. *Sclerolips maculicollis* (Morimoto) モンクチカクシゾウムシ III.29(1)

587. *Sternochetus navicularis* (Roelofs) フナガタクチカクシゾウムシ IV.12(1)

588. *Rhadinopus sulcatostrigatus* (Roelofs) アラハダクチカクシゾウムシ※ IV.12(1)

589. *Caenocryptorrhynchus frontalis* Morimoto アタマクチカクシゾウムシ※ VII.5-19(FIT-1)

590. *Stenoscelis gracilitarsis* Wollaston マツクチプトキイゾウムシ VII.5-19(FIT-1)

591. *Pholidoforus squamosus* Wollaston メダカケブカキイゾウムシ VI.11(1)

592. *Phloeophagosoma curvirostre* Wollaston ワシバナヒメキイゾウムシ※ IV.12(1), III.29-IV.12(FIT-1)

593. *Sphaerocorynes lewisianus* Wollaston ルイスチャバナキイゾウムシ III.29(1)

(オサゾウムシ科)

594. *Sipalinus gigas gigas* (Fabricius) オオゾウムシ VIII.2-5(1-LT)

595. *Sphenophorus venatus vestitus* Chittenden シバオサゾウムシ VI.11(1-U字溝), VIII.16(1-U字溝)

アメリカ合衆国大西洋沿海州原産の種で、1979年に沖縄、1980年に福岡県福岡市と古賀市のゴルフ場の芝から発見されている。現在では福岡県各地の低地、河川敷などで発見されている。

596. *Aplotes roelofsi* (Chevrolat) トホシオサゾウムシ IV.26(1) ツユクサに多い。

(ナガキクイムシ科)

597. *Dinoplatypus calamus* Blandford ヨシブエナガキクイムシ III.15-29(FIT-1), VI.3-7(1-LT)

(キクイムシ科)

598. *Scolytoplatypus Mikado* Blandford ミカドキクイムシ VI.3-7(1-LT)

## まとめ

今回調べた地は、全体として標高が低く、風通しが良く、森林は貧弱な二次林が多い地域と言える。深い森林やマント群落に取り囲まれたような薄暗く湿度が高い森林はほとんど見られなかった。そのため、明るい地や乾燥した地、生きた樹木や草に見られる種が多く、暗い森林中や菌類に依存するような種はあまり見られなかった。一方、特異的なこととして、草原内にほぼ自然状態の小さな池があることで、水辺環境に依存する種が多く見られた。また、演習林内のコナラの巨木がいわゆる「ナラ枯れ」の被害を受けていて、それに関連する甲虫も少なくなかった。

さらに、当地の大きな特徴として、二次林のほかに、各地から持ち込まれた標本林、標本木、見本林が随所に見られることがある。例えば、ブナ科だけでもコナラ、アベマキ、イチイガシ、シイ、シラカシ、アラカシ、クリなどが見られ、その花に飛来するコガネムシやカミキリムシなどの甲虫が3月から6月中旬まで、連続的に見られるなどした。また、台湾演習林の森や亜熱帯植物林などでは、普段見かけないような樹木の花が次々に開花し、多くの甲虫が飛来していた。

当地では草原環境はかなりの面積を占める。池を中心に広い草原となり、また、事務棟周辺は草原や芝地となって、草食性の甲虫が多く見られた。ただ、これらの草原は定期的に徹底した草刈りがされていて、ハムシ類は思ったより少なかった。ゴミムシ類は多く見られた。

池は浅くて狭いがスイレンなどが繁茂し、ゲンゴロウやガムシをはじめ多くの水生昆虫が見られた。また、周辺の草原は河川敷に見られるゴミムシ類が多数見られ、筑後川河川敷期から記録された種と共通の種も多く見られた。池から離れた演習林と私有地の境付近数カ所に設置したライトトラップにも水生又は水辺環境に生息する甲虫が多数飛来し、この池の存在は当地の甲虫相の多様性にとって重要なものとなっている。

一方、多様な甲虫が見られた割に個体数が少ないもの

が多かった。今回記録のために採集した個体が普通種と言われるものでもただ1頭しか見いだせなかったものが多数ある。また、当然いるはずの普通種が全く採れないものも多かった。たとえば、大型のオサムシ類（ヒメオサムシが1頭得られただけ）、サクラコガネ、ヒメコガネ、サツマコフキコガネ、ミヤマカミキリなどはついに見ることがなかった。

都市部に近接し、また、空港や港湾が近いいためか、外来種・侵入種が多く見られた。ミナメケモンマルトゲムシ、ムネアカオオクロテントウ、モンクチビルテントウ、ツシママダラテントウ、チャゴマフカミキリ、ブタクサハムシ、ヨツモンカメノコハムシ、アルファルファタコゾウムシ、ヤサイゾウムシ、シバオサゾウムシなど。また、当地では個体数が多い種が多数ある。

「ナラ枯れ」にかかわる種としてカシノナガキクイムシ、チビヒラタムシ類（種数、個体数ともに多い。）、ヒゲナガゾウムシ類などは多かった。

福岡県 RDB2014掲載種は、キイロアトキリゴミムシ、ツノコガネ、クリイロヒゲハナノミ、クビアカモモブトホソカミキリの4種。その他、福岡県初記録の種や学術的に重要な種も多数発見されている。（種の記録で解説し

た。）

以上、「3-1 地表式 FIT（丸山式 FIT）で得られた種」において227種、「3-2 地表式 FIT（丸山式 FIT）以外で得られた種」において598種を記録した。これらを合わせ重複種106種を差し引く（227+598-106）と当地から719種記録したことになる。

筆者は過去に福岡県内各地に置いて同様の調査をしてきたが、1年間で718種というのは決して少ない数ではない。かなり人工的に手を加えられた当地の自然環境ではあるが、そのことが細切れながらいろいろな生息環境を生み出していると考える。個々の種類や個体数は別とし、多くの甲虫はしたたかに生息を続けていると感じたところである。

## 引用文献

城戸克弥, 2024. 九州大学福岡演習林で得られた甲虫5種の記録. 月刊むし, (646): 35-36.

*Received Nov. 11, 2024; accepted Dec. 10, 2024*



福岡演習林事務棟



事務棟から南を望む(中央の山までが敷地)



事務棟西のカシ類の見本林



演習林内の作業道



草原の中のU字溝(草刈りの直後)



草原の中の池(手前斜め横にU字溝が見える)

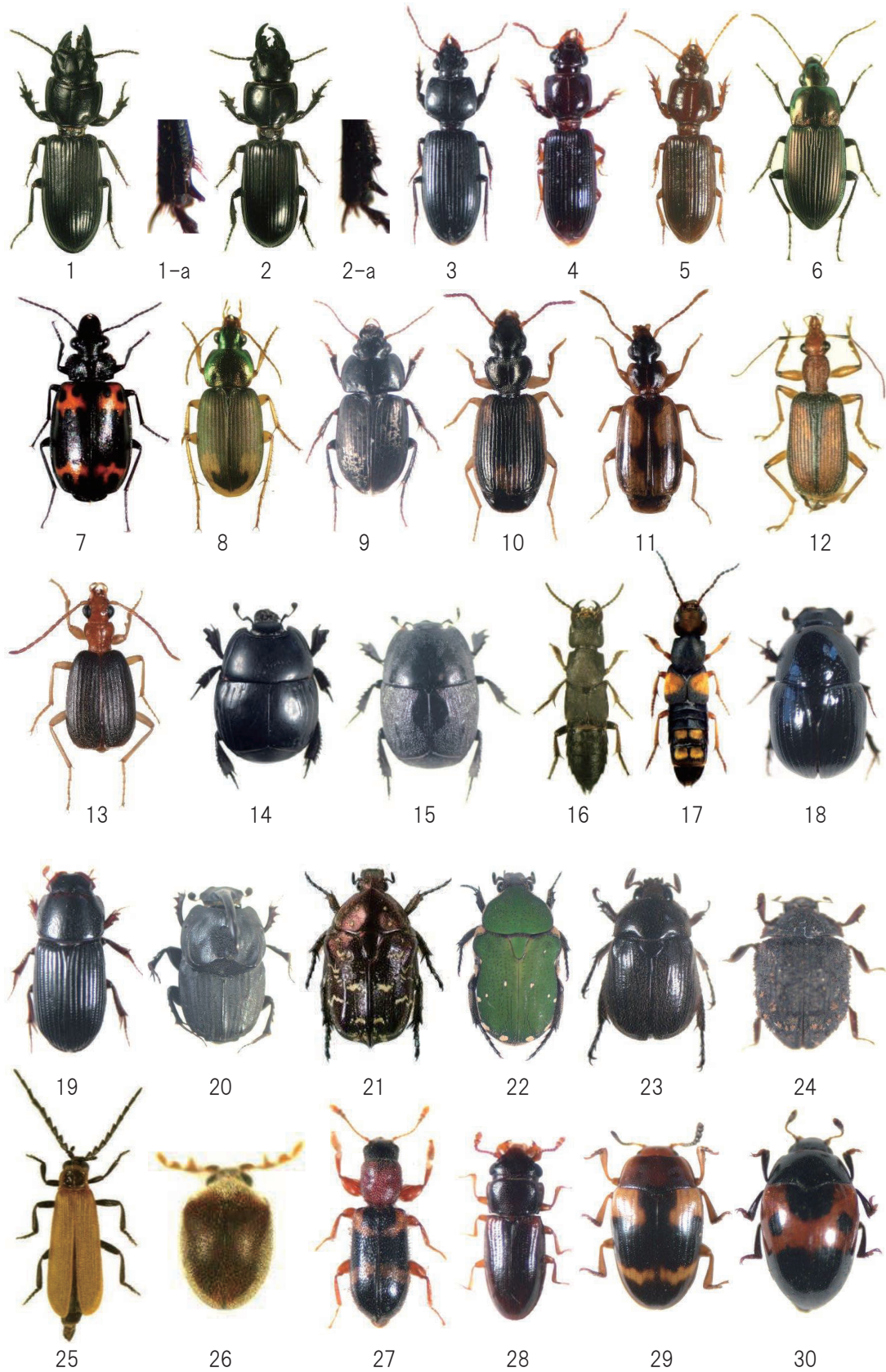


森林内に設置した地表式FIT(丸山式FIT)



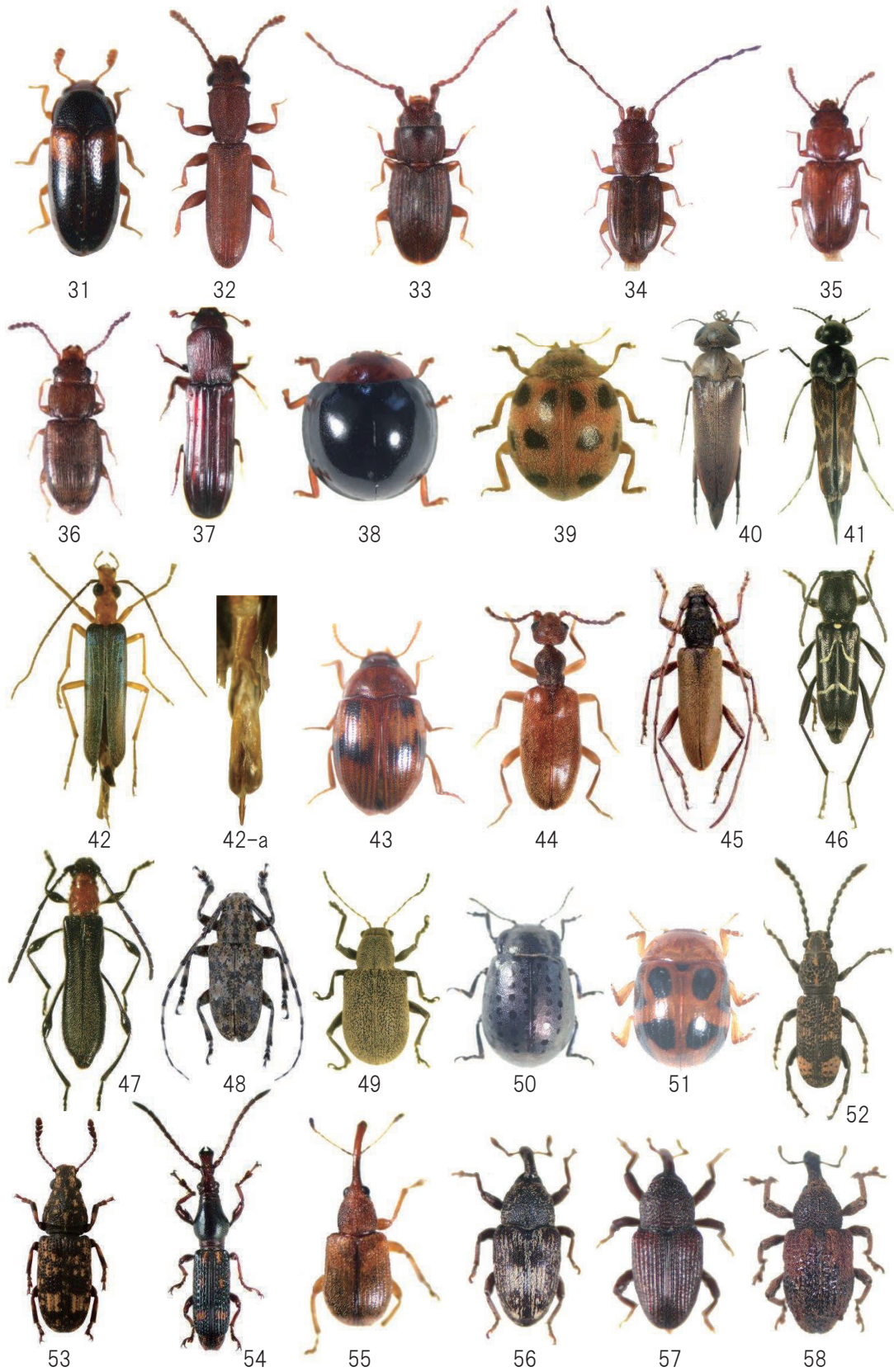
池の周辺に設置したUV-LED ライトトラップ

図版1 演習林内風景とトラップの設置状況



図版2

1 ナガヒョウタンゴミムシ1-a 同中脛節 外縁に1本の棘がある2 ホソヒョウタンゴミムシ2-a 同中脛節 外縁に2本の棘がある3 ツヤヒメヒョウタンゴミムシ  
4 クロヒメヒョウタンゴミムシ5 コヒメヒョウタンゴミムシ6 キンナガゴミムシ7 キノコゴミムシ8 コアトワアオゴミムシ9 トゲアトキリゴミムシ10 キボ  
シアトキリゴミムシ11 キイロアトキリゴミムシ12 アオヘリホソゴミムシ13 ヒメホソクビゴミムシ14 ヤマトエンマムシ15 アラメエンマムシ16 カラカネ  
トガリオズハネカクシ17 キンボシマルズハネカクシ18 マルツヤマグソコガネ19 オオニセツツマグソコガネ20 ツノコガネ21 シラホシハナムグリ22 ホ  
ソコハナムグリ23 ヨツバコガネ24 ミナミケモンマルトゲムシ25 チョウセンハナボタル26 フタイロミゾキノコシバンムシ27 タイワンチビカッコウムシ  
28 ヒラタコメツキモドキ29 キョビチビオキノコムシ30 ツマグロチビオキノコムシ



図版3

31 カグモンホソオオキノコムシ 32 ヒラムネホソヒラタムシ 33 カギヒゲチビヒラタムシ 34 ウスリーチビヒラタムシ 35 キイロチビヒラタムシ 36 ウスグロチビヒラタムシ 37 ヒュウガツツホソカタムシ 38 ムネアカオオクロテントウ 39 ツシマダグラテントウ 40 クリイロヒゲハナノミ 41 オオオビハナノミ 42 シリナガカミキリモドキ 42-a 同腹部末端 43 ヒメオビキノコゴミムシダマシ 44 モモキアリモドキ 45 キイロミヤマカミキリ 46 シラケトラカミキリ 47 クビアカモプトホソカミキリ 48 チャゴマフカミキリ 49 ニホンケブカサルハムシ 50 ハッカハムシ 51 ヤツボシハムシ 52 ナガフトヒゲナガゾウムシ 53 ツシマオノヒゲナガゾウムシ 54 ミツギリゾウムシ 55 カゼチョッキリ 56 チャマダラヒメゾウムシ 57 サビカタビロヒメゾウムシ 58 アカコブコブゾウムシ

## Beetles of the Kasuya Research Forest, Kyushu University

Katsuya KIDO

Collaborative Researcher, Kyushu University Museum:  
6-10-1 Hakozaki, Higashi-ku, Fukuoka City, Fukuoka Prefecture, 812-8581, Japan  
coleop6464@yahoo.co.jp

A survey of beetle species was conducted in the Kasuya Research Forest of Kyushu University from March to October 2024. Using ground-level FIT (Maruyama-style FIT), 227 species were collected, while 598 species were obtained through other collection methods. After accounting for 106 overlapping species between the two methods ( $227 + 598 - 106$ ), a total of 719 species were recorded from the area. This investigation also led to the discovery of numerous species newly recorded in Fukuoka Prefecture and others of significant scientific interest including Red List species.

**Key words:** Sasaguri Town, Satoyama, Coleoptera, First record from Fukuoka Pref.